

目次

★ 発生動向総覧	P1～3
★ 感染症発生動向警報システムによる保健所の警報状況	P4
★ 指定届出機関からの特記事項欄コメント	P4～6
★ 全数把握感染症集計表	P7
★ 定点把握感染症集計表	P8～12
★ 定点把握感染症推移グラフ	P13～17
★ 定点把握感染症集計表(月報)	P18～21
★ 定点把握感染症推移グラフ(月報)	P22～23
★ インフルエンザの流行状況、注意喚起	P24～26
★ 新型コロナウイルス感染症の状況	P27～

インフルエンザが再び注意報レベルになりました！ (2024年第10週(3/4～3/11)～)



発生動向総覧

◆全数届出の感染症

- 1類感染症 報告なし
- 2類感染症 報告なし
- 3類感染症 報告なし
- 4類感染症 報告なし
- 5類感染症 梅毒(浜松市(1))

◆定点把握の対象となる5類感染症(週報対象のもの)

環境衛生科学研究所

感染症情報センター

感染症発生動向調査

令和6年第10週(3/4～3/10)の動向

警報・注意報・流行期入りの目安

警報・注意報のねらいは、感染症発生動向調査における定点把握感染症のうち、公衆衛生上その流行現象の早期把握が必要な疾病について、流行の原因究明や拡大阻止対策などを講ずるための資料として、都道府県衛生主幹部局や保健所など第一線の衛生行政機関の専門家に向け、データの何らかの流行現象がみられることを、一定の科学的根拠に基づいて迅速に注意喚起することにあります。

ほとんどの感染症では、時間の経過とともに流行が地域的に拡大あるいは移動していくことから、流行拡大を早期に探知するためには、小区域での流行状況を広域的に監視することが重要と考えられます。

「警報レベル」は、大きな流行が発生または継続しつつあると疑われることを示します。

「注意報レベル」は、流行の発生前であれば今後4週間以内に大きな流行が発生する可能性が高いこと、流行の発生後であれば流行が継続していると疑われることを指します。

「警報レベル」は、1週間の定点当たり報告数がある基準値(開始基準値)以上で開始し、別の基準値(終息基準値)未達で終息します。

「注意報レベル」は1週間の定点当たり報告数がある基準値以上の場合は、警報・注意報レベルの基準値は、これまでの感染症発生動向調査データから、下記の通り定められています。

インフルエンザには、「流行期入りの目安」として、「1」があります。

1週間の定点医療機関あたり報告数が1を上回ると、インフルエンザが流行期に入ったと考えられます。ただし、あくまでも目安であり、1週のデータのみで判断するのではなく継続的に推移を確認して判断することが重要です。

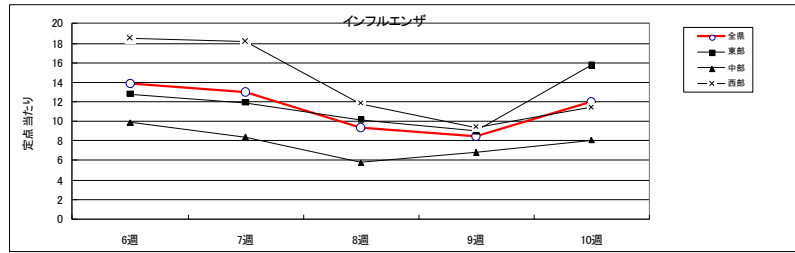
疾病	警報レベル		注意報レベル 基準値
	開始基準値	終息基準値	
インフルエンザ	30.0	10.0	10.0
咽頭結膜熱	3.0	1.0	—
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	8.0	4.0	—
感染性胃腸炎	20.0	12.0	—
水痘	2.0	1.0	1.0
手足口病	5.0	2.0	—
伝染性紅斑	2.0	1.0	—
ヘルパンギーナ	6.0	2.0	—
流行性耳下腺炎	6.0	2.0	3.0

【今週のコメント】

第10週(3/4～3/10)の感染症発生動向調査では、静岡県内のインフルエンザの定点当たり報告数が11.96人となり、前週の8.47人から増加しました。

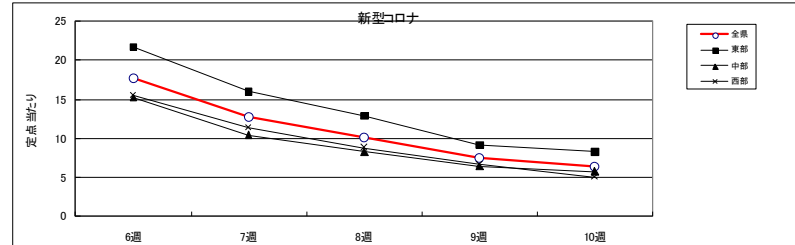
【インフルエンザ】

全県で罹患数1,663、定点当たり11.96の患者発生があり、前週の8.47から増加した。定点当たりは、東部地区で15.74、中部地区で8.07、西部地区で11.43の発生があった。



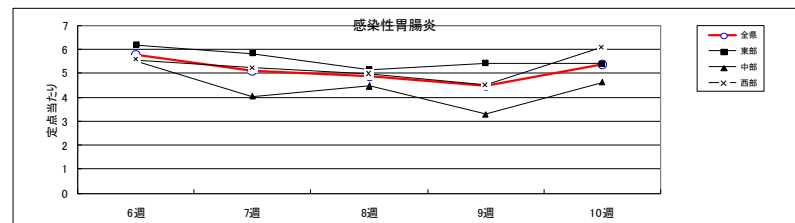
【新型コロナ】

全県で罹患数885、定点当たり6.37の患者発生があり、前週の7.42から減少した。定点当たり東部地区で8.24、中部地区で5.69、西部地区で4.98の患者が発生した。



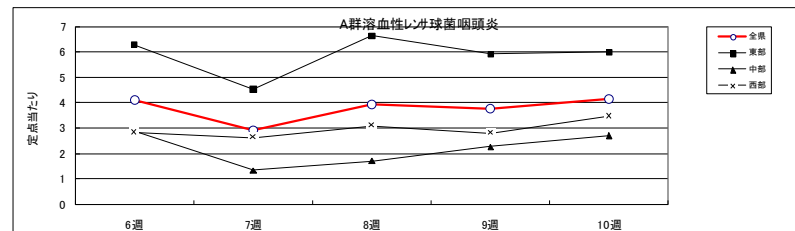
【感染性胃腸炎】

全県で罹患数480、定点当たり5.39の患者発生があり、前週の4.47から増加した。定点当たり東部地区で5.41、中部地区で4.63、西部地区で6.07の患者が発生した。



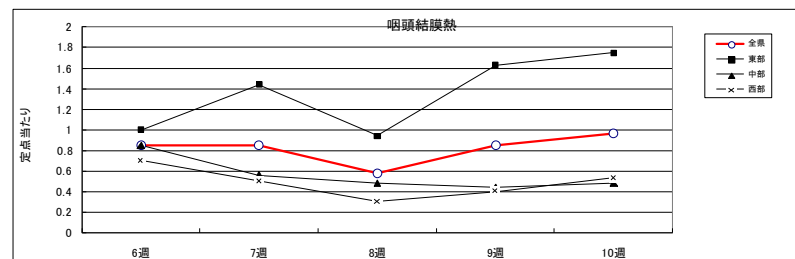
【A群溶血性レンサ球菌咽頭炎】

全県で罹患数369、定点当たり4.15の患者発生があり、前週の3.75から増加した。定点当たり東部地区で6、中部地区で2.7、西部地区で3.47の患者が発生した。



【咽頭結膜熱】

全県で罹患数85、定点当たり0.96の患者発生があり、前週の0.85から増加した。定点当たり東部地区で1.75、中部地区で0.48、西部地区で0.53の患者が発生した。

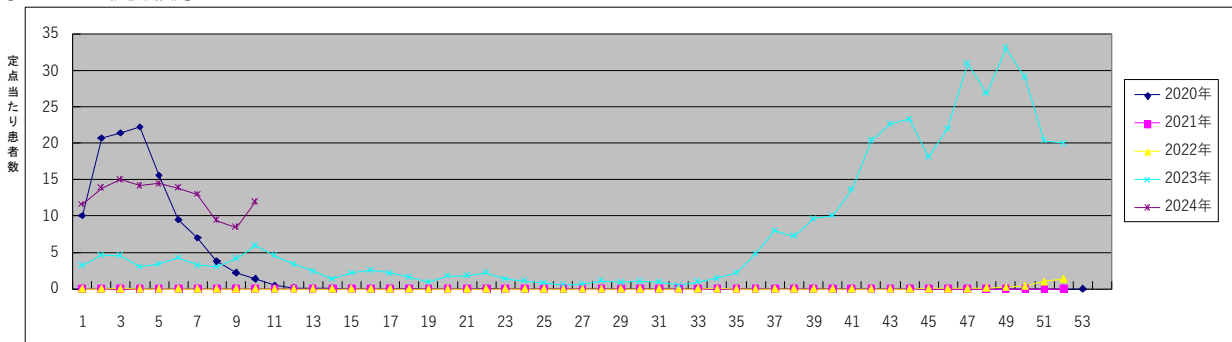


・麻疹、風疹は患者発生なし。

・全国のインフルエンザの発生は16.14で前週の13.96から増加した。警報レベルの保健所を有する都道府県は39から42に増加、注意報レベルの保健所を有する都道府県も39から43に増加した。

・静岡県において第10週に定点当たり患者報告数の多かった疾病は、順に1) インフルエンザ (11.96)、2) 新型コロナ (6.37)、3) 感染性胃腸炎 (5.39)、4) A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 (4.15)、5) 咽頭結膜熱 (0.96)、6) マイコプラズマ肺炎 (0.3)であった。

【インフルエンザ罹患数推移】



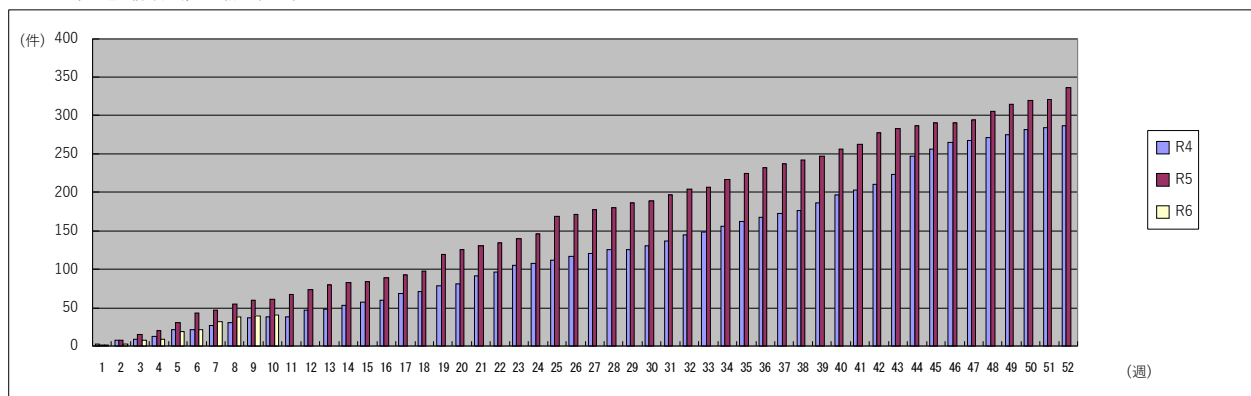
【県内衛生研究所におけるインフルエンザウイルス検出状況(2023/2024シーズン)】

(令和5年第40週～)

週	型	A/H1	A/H3	B/山形	B/Victoria
		pdm09		系統	系統
R5年 第40週～第45週	静岡県	21	36		
	静岡市	5	8		
	浜松市	1	10		
R5年 第46週～第50週	静岡県	9	22		1
	静岡市	1	7		
	浜松市	10	28		5
R5年 第51週～第52週	静岡県	4	12		1
	静岡市	2	2		1
	浜松市	2	13		1
R6年 第1週～第5週	静岡県	14	14		4
	静岡市	11	14		5
	浜松市	7	15		2
R6年 第6週	静岡県	5	1		2
	静岡市	1	1		
	浜松市	1	2		1
R6年 第7週	静岡県		2		2
	静岡市				7
	浜松市				6
R6年 第8週	静岡県				2
	静岡市				
	浜松市	1			7
R6年 第9週	静岡県				3
	静岡市				4
	浜松市		1		2
R6年 第10週	静岡県		1		3
	静岡市				5
	浜松市		1		2
合 計		95	190	0	66

【梅毒の発生状況(静岡県・累計)】

・第10週は前年同期比0.7倍であった。



感染症発生動向警報システムによる保健所の警報状況

- 警 報 インフルエンザ(御殿場、西部)
咽頭結膜熱(東部)
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎(御殿場)
- 注意報 インフルエンザ(熱海、東部、富士、浜松市)



指定届出機関からの特記事項欄コメント

下田メディカルセンター(下田市)「インフルエンザA型1名、インフルエンザB型 10名」

かわづクリニック(河津町)「インフルエンザB型4名」

高野医院(伊東市)「インフルエンザA型 3名、インフルエンザB型 10名、新型コロナ 14名」

むらかみ小児科クリニック(伊東市)「インフルエンザA型 5名、インフルエンザB型 12名(うち1名A型とB型同時感染)」

よぞ小児科医院(沼津市)「インフルエンザA型 1名、インフルエンザB型 8名、咽頭結膜熱 1名」

光ヶ丘小児科(三島市)「インフルエンザA型 11名、インフルエンザB型 70名、新型コロナ 18名、咽頭アデノ 12名」

クボタ小児科(三島市)「インフルエンザA型 2名、インフルエンザB型 16名」

白十字小児科医院(沼津市)「インフルエンザA型 1名、インフルエンザB型 23名」

函南平出クリニック(函南町)「新型コロナ 2名、インフルエンザA型 7名、インフルエンザB型 98名、RS 1名、咽頭アデノ 11名、溶連菌感染症 13名、手足口病 1名」

なかがわ医院(小山町)「インフルエンザB型 5名」

安田内科小児科医院(御殿場市)「インフルエンザA型 5名、インフルエンザB型 35名、新型コロナ 40名」

富士病院(御殿場市)「インフルエンザA型 7名、インフルエンザB型 21名」

たうち小児科医院(御殿場市)「インフルエンザA型 6名、インフルエンザB型 58名、新型コロナ 25名、A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 102名」

お八幡医院(御殿場市)「インフルエンザB型 15名」

小川小児科内科医院(富士市)「インフルエンザA型 7名、インフルエンザB型 46名、新型コロナ 28名」

木村内科医院(富士市)「新型コロナ 3名」

共立蒲原総合病院・内科(富士市)「インフルエンザ 4名、新型コロナ 12名」

共立蒲原総合病院・小児科(富士市)「インフルエンザ 4名」

聖隷富士病院(富士市)「インフルエンザA型 1名、インフルエンザB型 2名、新型コロナ 13名」

瀬尾小児科内科医院(富士市)「インフルエンザ 20名、新型コロナ 6名」

田子浦クリニック(富士市)「インフルエンザ 24名、新型コロナ 23名」

谷口小児科医院(富士宮市)「インフルエンザ 38名、新型コロナ 4名」

永松医院(富士宮市)「インフルエンザB型 1名、新型コロナ 6名」

南陽堂内科循環器科クリニック(富士宮市)「新型コロナ 1名」
平野医院(富士市)「インフルエンザ 1名、新型コロナ 4名」
富士市立中央病院(富士市)「インフルエンザ 2名、新型コロナ 12名」
富士宮市立病院(富士宮市)「インフルエンザ 1名」
三浦医院(富士宮市)「インフルエンザ 40名、新型コロナ 10名」
伊藤医院(湖西市)「インフルエンザB型 2名」
ふたばクリニック(磐田市)「インフルエンザB型 7名」
きもと小児科(湖西市)「インフルエンザA型2名 インフルエンザB型 40名」
浜松医療センター(浜松市)「マイコプラズマ 1名」
クリニックパパ(浜松市)「ヒトメタニューモ 2名、インフルエンザB型 39名」
げんきこどもクリニック(浜松市)「インフルエンザB型 25名」
いぬかい小児科(浜松市)「インフルエンザB型 24名」
幸田子供クリニック(浜松市)「インフルエンザB型 24名」
天童こども医院(浜松市)「咽頭アデノ 1名、インフルエンザB型 19名」
小児科竹内医院(浜松市)「インフルエンザA型 1名、インフルエンザB型 9名」
縣医院(浜松市)「インフルエンザB型 1名」
おおば小児科(浜松市)「インフルエンザA型 2名、インフルエンザB型 22名」
くまがいクリニック(浜松市)「インフルエンザB型 12名」
大竹内科医院(浜松市)「インフルエンザA型 2名、インフルエンザB型 3名」
」

感染症第9週(令和6年2月26日～令和6年3月3日)追加分

なかがわ医院(小山町)「インフルエンザB型 1名」
安田内科小児科医院(御殿場市)「ノロ 1歳女児 1名、インフルエンザA型 8名、インフルエンザB型 14名、新型コロナ 44名」
富士病院(御殿場市)「インフルエンザA型 8名、インフルエンザB型 13名」
たうち小児科医院(御殿場市)「インフルエンザA型 9名、インフルエンザB型 29名、新型コロナ 35名、A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 105名」
お八幡医院(御殿場市)「インフルエンザA型 3名、インフルエンザB型 7名」

※特記事項欄コメントによるインフルエンザ型別状況(2023-2024 シーズン累計)

週	インフルエンザA型		インフルエンザB型	
	報告数	割合	報告数	割合
第1週	429名	91.1%	42名	8.9%
第2週	614名	86.6%	95名	13.4%
第3週	714名	83.4%	142名	16.6%
第4週	569名	71.9%	222名	28.1%
第5週	435名	50.1%	434名	49.9%
第6週	273名	33.7%	538名	66.3%
第7週	135名	17.7%	626名	82.3%
第8週	82名	14.0%	502名	86.0%
第9週	60名	14.2%	362名	85.8%
第10週	64名	8.8%	661名	91.2%
合計	30,990名	88.2%	4,163名	11.8%

静岡県の感染症週報はホームページでも御覧いただけます。

(「静岡県 感染症情報センター」で検索)

<https://www.pref.shizuoka.jp/kenkofukushi/shippeikansensho/kansensho/1003065/index.html>

疾患名	区分	静岡県						全国					
		5週	6週	7週	8週	9週	今週	年累計	7週	8週	9週	今週	年累計
エボラ出血熱													
クリミア・コンゴ出血熱													
痘そう													
南米出血熱													
ペスト													
マールブルグ病													
ラッサ熱													
急性灰白髄炎													
結核		8	10	7	5	3		69	187	190	258	227	2,478
ジフテリア													
重症急性呼吸器症候群(SARS)													
中東呼吸器症候群(MERS)													
鳥インフルエンザH5N1													
鳥インフルエンザH7N9													
コレラ													
細菌性赤痢									1		1		8
腸管出血性大腸菌感染症		1						4	26	12	26	21	218
腸チフス										1	2		3
パラチフス													1
E型肝炎									8	7	12	9	108
ウエストナイル熱(ウエストナイル脳炎を含む)													
A型肝炎									2	1	2	3	17
エキノコックス症												1	1
エムボックス										1	1		9
賞熱													
オウム病													
オムスク出血熱													
回帰熱													1
キャサスル森林病													
Q熱										6			6
狂犬病													
コクシジオイデス症													
ジカウイルス感染症													
重症熱性血小板減少症候群											1	1	5
腎臓膜性出血熱													
西部ウマ脳炎													
ダニ媒介脳炎													
炭疽													
テクングニア熱													
つつが虫病								1	1	1		3	57
デング熱									2	3	1	2	25
東部ウマ脳炎													
鳥インフルエンザ													
ニバウイルス感染症													
日本紅斑熱											1		3
日本脳炎													1
ハンタウイルス肺炎候群													
Bウイルス病													
鼻疽													
ブルセラ症													
ペネズエラウマ脳炎													
ヘンドラウイルス感染症													
発しんチフス													
ポツリヌス症													
マラリア													4
野馬病													
ライム病													
リッサウイルス感染症													
リフトバレー熱													
猩紅熱													
レジオネラ症		1						5	23	27	25	34	323
レプトスピラ症													1
ロッキー山紅斑熱													
アメーバ赤痢								2	9	6	7	7	94
ウイルス性肝炎(A型肝炎及びE型肝炎を除く)									3		2	3	25
カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症		1						1	27	22	27	21	329
急性弛緩性麻痺										1			5
急性脳炎(ウエストナイル脳炎、日本脳炎等を除く)				1	3			9	9	15	10	8	137
クリプトスポリジウム症												2	4
クロイツフェルト・ヤコブ病									3	4	4	4	36
劇症型溶血性レンサ球菌感染症				2	1			7	33	26	33	36	474
後天性免疫不全症候群		1	2	1	1	1		10	13	9	11	9	180
ジアルジア症									1		1	1	6
侵襲性インフルエンザ菌感染症					1			1	7	8	11	9	127
侵襲性髄膜炎菌感染症											2	2	10
侵襲性肺炎球菌感染症			3	1				14	44	37	26	21	526
水痘(入院例に限る)		1						3	4	8	13	12	81
先天性風しん症候群													
梅毒		1	2	6	5	2	1	40	143	145	201	191	2,299
播種性クリプトコックス症										3	3	4	35
破傷風				1				1	2	2	1	2	14
バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症													
バンコマイシン耐性腸球菌感染症								3	3	1	3	3	25
百日咳			1					1	8	7	12	10	106
風しん													
麻疹									1	1		8	11
薬剤耐性アシネトバクター感染症													
新型インフルエンザ等感染症													

※次週以降に届出の追加や取り下げがあった場合、この表では、前週以前の届出数に反映されません。「今週」と「年累計」は、現時点での正しい届出数です。前週以前の届出数はその後、増減している可能性があります。

※令和5年5月26日から「サル痘」は「エムボックス」に、「カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症」は「カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症」に名称が変更されました。

定点把握感染症集計表(届出数)

2024年 10 週

	静岡県							全国				
	5週	6週	7週	8週	9週	今週	計	7週	8週	9週	今週	計
RSウイルス感染症	3	2	4	5	11	15	40	464	658	904	1,171	3,197
咽頭結膜熱	85	76	76	52	76	85	450	2,851	2,640	2,994	2,747	11,232
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	391	364	260	351	334	369	2,069	11,534	11,561	12,192	13,808	49,095
感染性胃腸炎	555	514	453	435	398	480	2,835	17,950	17,106	17,166	17,577	69,799
水痘	4	19	7	11	5	9	55	364	399	404	428	1,595
手足口病	8	13	4	3	3	9	40	532	591	683	545	2,351
伝染性紅斑	4		1	2	3	4	14	54	55	60	68	237
突発性発しん	15	17	17	12	24	22	107	591	591	659	634	2,475
ヘルパンギーナ		1	1			1	3	53	93	103	80	329
流行性耳下腺炎	6	8	4	7	4	5	34	90	88	85	78	341
インフルエンザ	2,008	1,924	1,802	1,307	1,177	1,663	9,881	101,832	82,741	68,883	79,643	333,099
新型コロナウイルス感染症	2,987	2,455	1,770	1,402	1,032	885	10,531	49,821	39,124	34,488	32,236	155,669
急性出血性結膜炎								5	4	9	12	30
流行性角結膜炎	2	9	2	4	6	4	27	326	293	313	297	1,229
細菌性髄膜炎				1			1	2	5	5	9	21
無菌性髄膜炎						2	2	4	8	6	11	29
マイコプラズマ肺炎		1	4			3	8	37	26	38	56	157
クラミジア肺炎(オウム病は除く)								2				2
感染性胃腸炎(病原体がロタウイルスであるものに限る。)								7	2	4	6	19

定点種別	県内定点数	届出対象感染症
小児科	89	RSウイルス感染症、咽頭結膜熱、A群溶血性レンサ球菌咽頭炎、感染性胃腸炎、水痘、手足口病、伝染性紅斑、突発性発しん、ヘルパンギーナ、流行性耳下腺炎、インフルエンザ、新型コロナウイルス感染症
内科	50	インフルエンザ、新型コロナウイルス感染症
眼科	22	急性出血性結膜炎、流行性角結膜炎
基幹	10	細菌性髄膜炎、無菌性髄膜炎、マイコプラズマ肺炎、クラミジア肺炎(オウム病は除く)、感染性胃腸炎(病原体がロタウイルスであるものに限る。)

※小児科定点と内科定点はインフルエンザ・新型コロナウイルス感染症定点を兼ねている。

※新型コロナウイルス感染症が令和5年5月8日(第19週)から五類感染症(定点把握対象)に追加されました。

定点把握感染症集計表(定点当り)

2024年 10 週

	静岡県						全国			
	第5週	第6週	第7週	第8週	第9週	今週	第7週	第8週	第9週	今週
RSウイルス感染症	0.03	0.02	0.04	0.06	0.12	0.17	0.15	0.21	0.29	0.37
咽頭結膜熱	0.96	0.85	0.85	0.58	0.85	0.96	0.91	0.84	0.96	0.88
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	4.39	4.09	2.92	3.94	3.75	4.15	3.68	3.69	3.89	4.41
感染性胃腸炎	6.24	5.78	5.09	4.89	4.47	5.39	5.73	5.46	5.48	5.61
水痘	0.04	0.21	0.08	0.12	0.06	0.10	0.12	0.13	0.13	0.14
手足口病	0.09	0.15	0.04	0.03	0.03	0.10	0.17	0.19	0.22	0.17
伝染性紅斑	0.04		0.00	0.02	0.03	0.04	0.02	0.02	0.02	0.02
突発性発しん	0.17	0.19	0.19	0.13	0.27	0.25	0.19	0.19	0.21	0.20
ヘルパンギーナ		0.01	0.01			0.01	0.02	0.03	0.03	0.03
流行性耳下腺炎	0.07	0.09	0.04	0.08	0.04	0.06	0.03	0.03	0.03	0.02
インフルエンザ	14.45	13.84	12.96	9.40	8.47	11.96	20.64	16.76	13.96	16.14
新型コロナウイルス感染症	21.49	17.66	12.73	10.09	7.42	6.37	10.10	7.92	6.99	6.53
急性出血性結膜炎							0.01	0.01	0.01	0.02
流行性角結膜炎	0.09	0.41	0.09	0.18	0.27	0.18	0.47	0.42	0.45	0.43
細菌性髄膜炎				0.10			0.00	0.01	0.01	0.02
無菌性髄膜炎						0.20	0.01	0.02	0.01	0.02
マイコプラズマ肺炎		0.10	0.40			0.30	0.08	0.05	0.08	0.12
クラミジア肺炎(オウム病は除く)							0.00	-	-	-
感染性胃腸炎(病原体がロタウイルスであるものに限る。)							0.01	0.00	0.01	0.01

定点種別	県内定点数	届出対象感染症
小児科	89	RSウイルス感染症、咽頭結膜熱、A群溶血性レンサ球菌咽頭炎、感染性胃腸炎、水痘、手足口病、伝染性紅斑、突発性発しん、ヘルパンギーナ、流行性耳下腺炎、インフルエンザ、新型コロナウイルス感染症
内科	50	インフルエンザ、新型コロナウイルス感染症
眼科	22	急性出血性結膜炎、流行性角結膜炎
基幹	10	細菌性髄膜炎、無菌性髄膜炎、マイコプラズマ肺炎、クラミジア肺炎(オウム病は除く)、感染性胃腸炎(病原体がロタウイルスであるものに限る。)

※小児科定点と内科定点はインフルエンザ・新型コロナウイルス感染症定点を兼ねている。

※新型コロナウイルス感染症が令和5年5月8日(第19週)から五類感染症(定点把握対象)に追加されました。

感染症 10 週

保健所名	RSウイルス感染症		咽頭結膜熱		A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎		感染性胃腸炎		水痘	
	罹患数	定点当り	罹患数	定点当り	罹患数	定点当り	罹患数	定点当り	罹患数	定点当り
総数	15	0.17	85	0.96	369	4.15	480	5.39	9	0.10
賀茂					1	0.50	5	2.50		
熱海			2	0.50	9	2.25	24	6.00		
東部	3	0.23	39	3.00	49	3.77	83	6.38		
御殿場	2	0.50	8	2.00	118	29.50	42	10.50	1	0.25
富士			7	0.78	15	1.67	19	2.11	2	0.22
静岡市	3	0.19	11	0.69	45	2.81	80	5.00	1	0.06
中部	1	0.09	2	0.18	28	2.55	45	4.09	3	0.27
西部			5	0.42	58	4.83	84	7.00	1	0.08
浜松市	6	0.33	11	0.61	46	2.56	98	5.44	1	0.06

保健所名	手足口病		伝染性紅斑		突発性発しん		ヘルパンギーナ		流行性耳下腺炎	
	罹患数	定点当り	罹患数	定点当り	罹患数	定点当り	週計	定点当り	罹患数	定点当り
総数	9	0.10	4	0.04	22	0.25	1	0.01	5	0.06
賀茂										
熱海					4	1.00			1	0.25
東部	1	0.08			1	0.08			1	0.08
御殿場					2	0.50			1	0.25
富士			1	0.11	2	0.22	1	0.11		
静岡市					3	0.19				
中部					2	0.18				
西部	7	0.58	3	0.25	3	0.25			2	0.17
浜松市	1	0.06			5	0.28				

保健所名	インフルエンザ		新型コロナウイルス感染症		麻しん (全数報告)		風しん (全数報告)		指定届出機関 (定点)数	
	罹患数	定点当り	罹患数	定点当り	週計	累計	週計	累計	小児科	内科
総数	1663	11.96	885	6.37	0	0	0	0	89	50
賀茂	15	5.00	19	6.33					2	1
熱海	69	11.50	55	9.17					4	2
東部	350	17.50	96	4.80					13	7
御殿場	162	27.00	120	20.00					4	2
富士	191	12.73	122	8.13					9	6
静岡市	174	6.96	105	4.20					16	9
中部	165	9.71	134	7.88					11	6
西部	210	11.05	118	6.21					12	7
浜松市	327	11.68	116	4.14					18	10

*新型コロナウイルス感染症が令和5年5月8日(第19週)から五類(定点把握対象)に追加されました。

感染症 10 週

保健所名	急性出血性結膜炎		流行性角結膜炎		細菌性髄膜炎		無菌性髄膜炎		マイコプラズマ肺炎	
	罹患数	定点当り	罹患数	定点当り	罹患数	定点当り	罹患数	定点当り	罹患数	定点当り
総数	0		4	0.18	0		2	0.20	3	0.30
賀茂										
熱海									2	2.00
東部										
御殿場										
富士			1	0.33			2	2.00		
静岡市			1	0.20						
中部										
西部										
浜松市			2	0.67					1	0.50

保健所名	クラミジア肺炎(オウム病は除く)		感染性胃腸炎 (病原体がロタウイルスであるものに限る。)	
	罹患数	定点当り	罹患数	定点当り
総数	0		0	
賀茂				
熱海				
東部				
御殿場				
富士				
静岡市				
中部				
西部				
浜松市				

指定届出機関 (定点)数	
眼科	基幹
22	10
	1
	1
4	1
3	1
5	2
3	1
4	1
3	2

*賀茂・熱海・御殿場の各保健所管内には眼科定点はありません。

*御殿場保健所管内には基幹定点はありません。

定点把握感染症年齢階級別集計表(届出数)

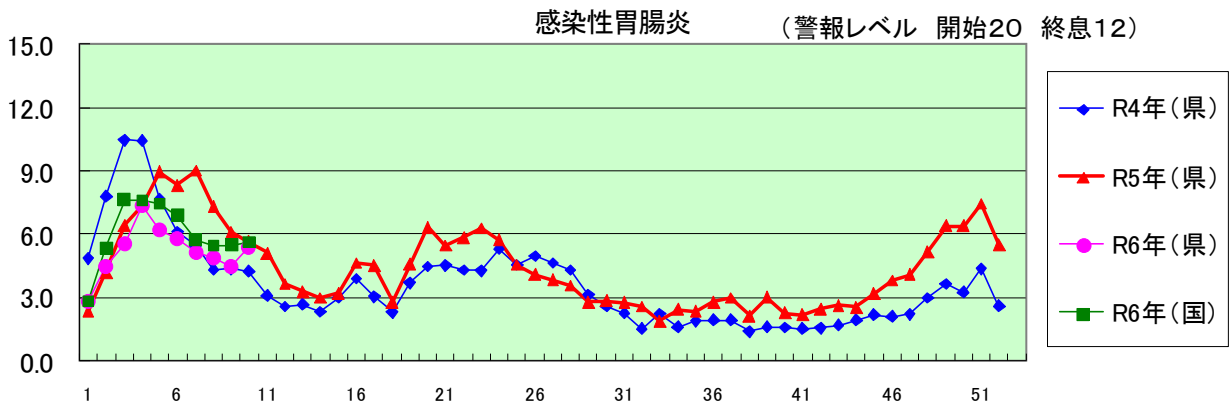
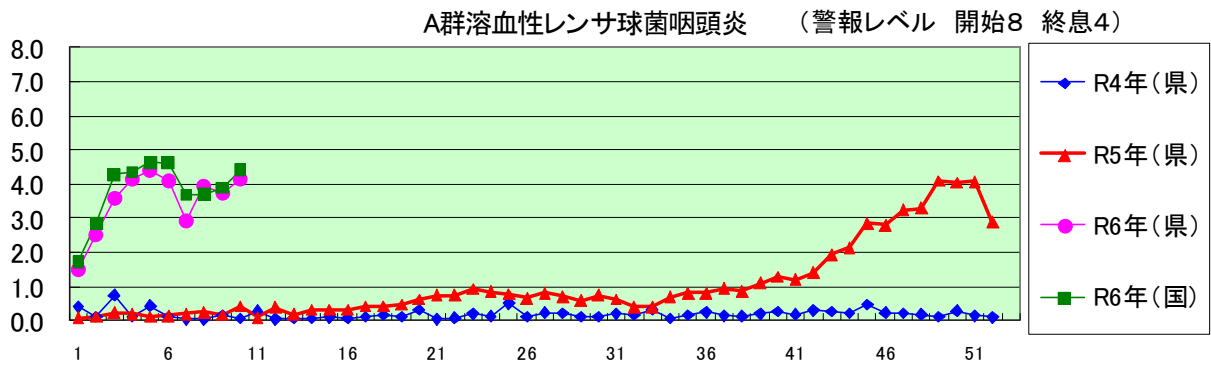
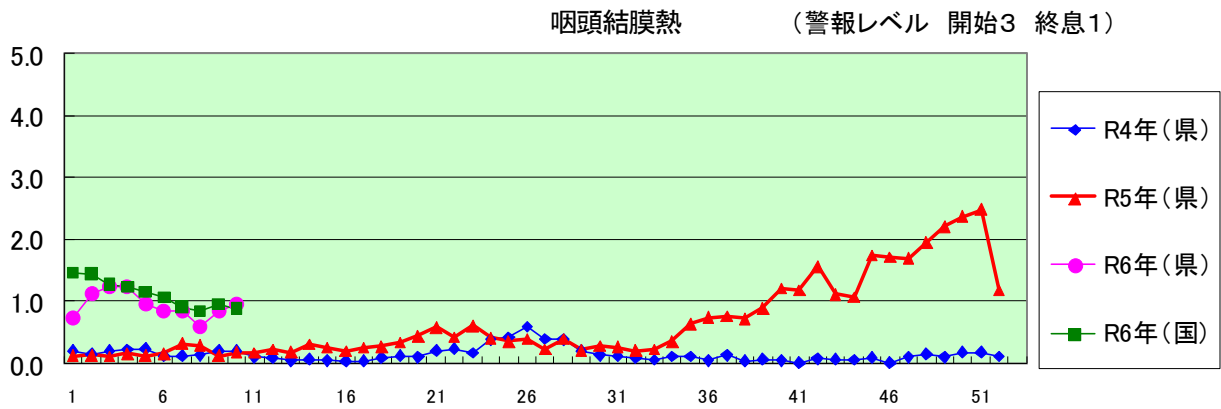
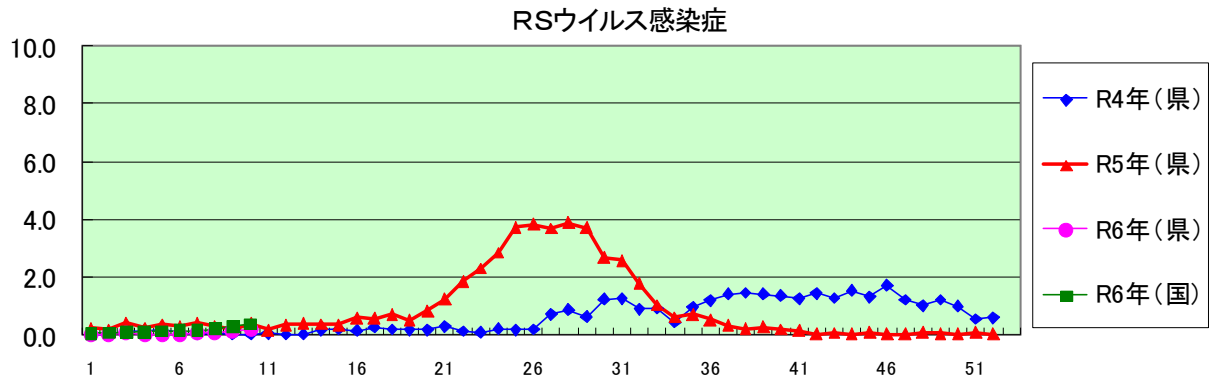
2024年 10 週

年齢階級区分	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10～14歳	15～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70～79歳	80歳以上	計	
〃(小児科定点把握感染症分)	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10～14歳	15～19歳	20歳以上								
〃(眼科定点把握感染症分)	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10～14歳	15～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上			
〃(基幹定点把握分)	0歳	1～4歳	5～9歳	10～14歳	15～19歳	20～24歳	25～29歳	30～34歳	35～39歳	40～44歳	45～49歳	50～54歳	55～59歳	60～64歳	65～69歳	70歳以上						
RSウイルス感染症	1	3	7		1	3															15	
咽頭結膜熱		1	6	5	13	17	13	12	6	1	6	5										85
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎			1	17	33	39	49	48	44	37	14	58	9	20								369
感染性胃腸炎	3	12	42	43	43	50	45	39	44	30	32	52	9	36								480
水痘					1			1	1		2	4										9
手足口病		1	5	2	1																	9
伝染性紅斑				1			2	1														4
突発性発しん		5	14	3																		22
ヘルパンギーナ		1																				1
流行性耳下腺炎				1		1			1	1		1										5
インフルエンザ	1	9	22	34	37	39	116	97	168	185	149	524	90	49	82	40	10	6	4	1	1,663	
新型コロナウイルス感染症	7	13	15	29	11	16	13	15	13	9	16	83	35	86	75	83	97	56	87	126	885	
急性出血性結膜炎																						
流行性角結膜炎								1						1			1		1			4
細菌性髄膜炎																						
無菌性髄膜炎							1							1								2
マイコプラズマ肺炎			1									1				1						3
クラミジア肺炎(オウム病は除く)																						
感染性胃腸炎(病原体がロタウイルスであるものに限る。)																						

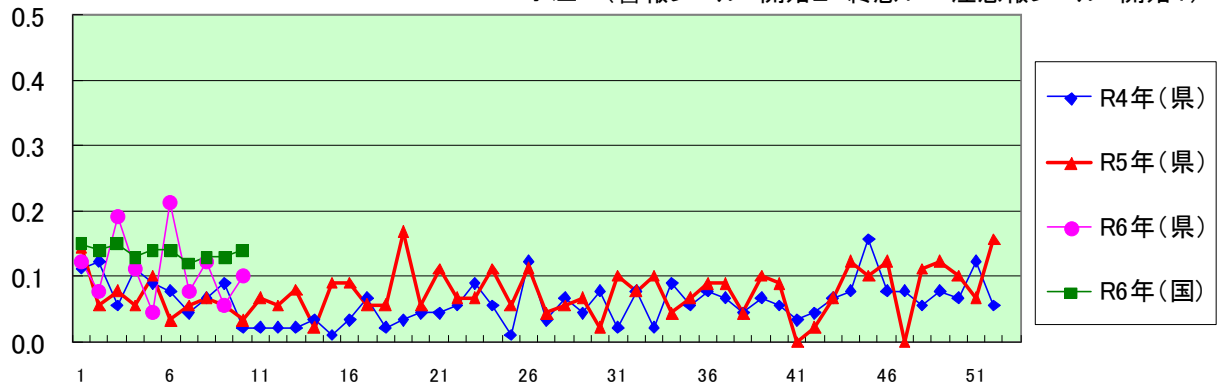
定点把握感染症年齢階級別集計表(定点当り)

2024年 10 週

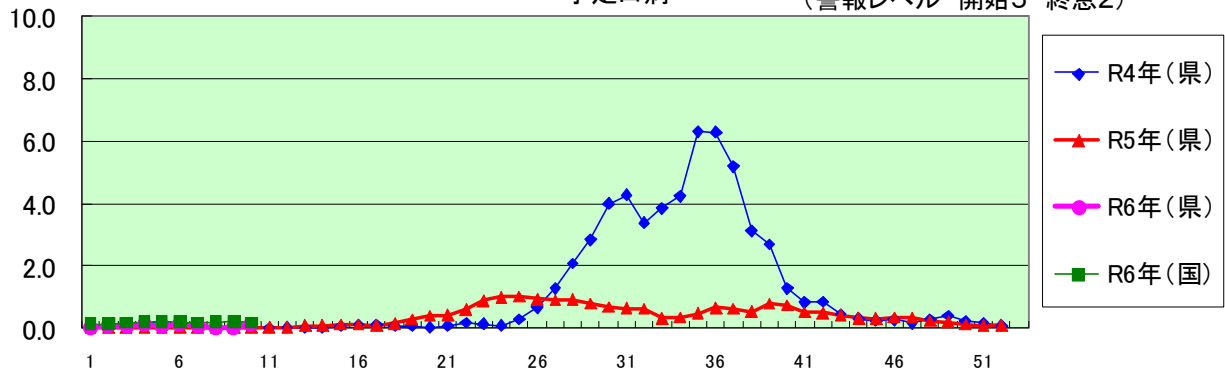
年齢階級区分	～6ヶ月	～12ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10～14歳	15～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70～79歳	80歳以上	計	
〃(小児科定点把握感染症分)	～6ヶ月	～12ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10～14歳	15～19歳	20歳以上								
〃(眼科定点把握感染症分)	～6ヶ月	～12ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10～14歳	15～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上			
〃(基幹定点把握分)	0歳	1～4歳	5～9歳	10～14歳	15～19歳	20～24歳	25～29歳	30～34歳	35～39歳	40～44歳	45～49歳	50～54歳	55～59歳	60～64歳	65～69歳	70歳以上						
RSウイルス感染症	0.01	0.03	0.08		0.01	0.03															0.17	
咽頭結膜熱		0.01	0.07	0.06	0.15	0.19	0.15	0.13	0.07	0.01	0.07	0.06										0.96
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎			0.01	0.19	0.37	0.44	0.55	0.54	0.49	0.42	0.16	0.65	0.10	0.22								4.15
感染性胃腸炎	0.03	0.13	0.47	0.48	0.48	0.56	0.51	0.44	0.49	0.34	0.36	0.58	0.10	0.40								5.39
水痘					0.01			0.01	0.01			0.02	0.04									0.10
手足口病		0.01	0.06	0.02	0.01																	0.10
伝染性紅斑				0.01			0.02	0.01														0.04
突発性発しん		0.06	0.16	0.03																		0.25
ヘルパンギーナ		0.01																				0.01
流行性耳下腺炎				0.01		0.01			0.01	0.01		0.01										0.06
インフルエンザ	0.01	0.06	0.16	0.24	0.27	0.28	0.83	0.70	1.21	1.33	1.07	3.77	0.65	0.35	0.59	0.29	0.07	0.04	0.03	0.01	11.96	
新型コロナウイルス感染症	0.05	0.09	0.11	0.21	0.08	0.12	0.09	0.11	0.09	0.06	0.12	0.60	0.25	0.62	0.54	0.60	0.70	0.40	0.63	0.91	6.37	
急性出血性結膜炎																						
流行性角結膜炎								0.05						0.05			0.05		0.05			0.18
細菌性髄膜炎																						
無菌性髄膜炎							0.10							0.10								0.20
マイコプラズマ肺炎			0.10									0.10				0.10						0.30
クラミジア肺炎(オウム病は除く)																						
感染性胃腸炎(病原体がロタウイルスであるものに限る。)																						



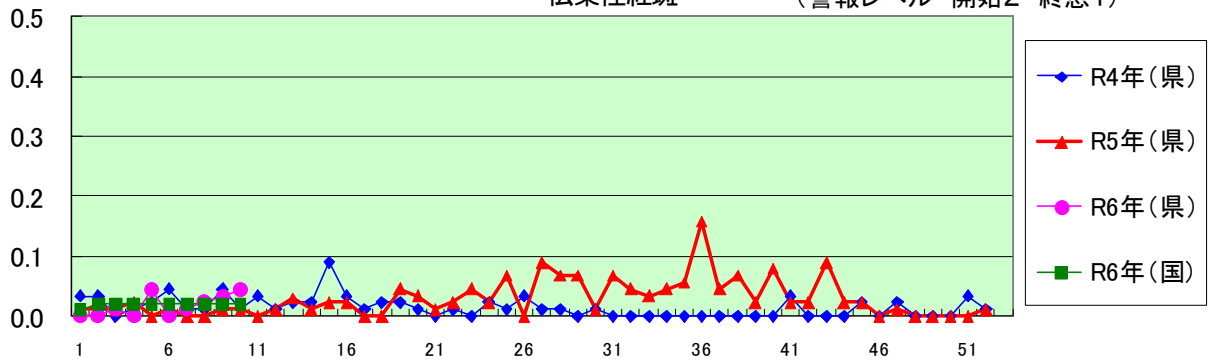
水痘 (警報レベル 開始2 終息1 注意報レベル 開始1)



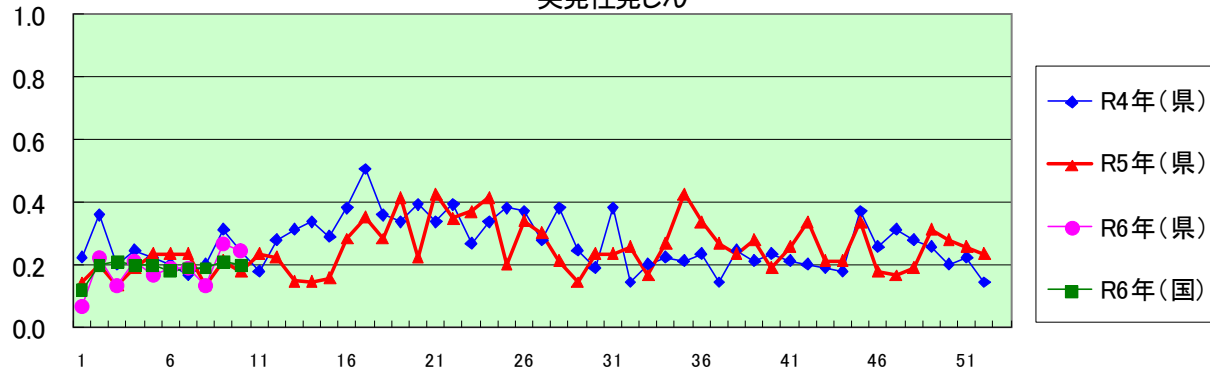
手足口病 (警報レベル 開始5 終息2)

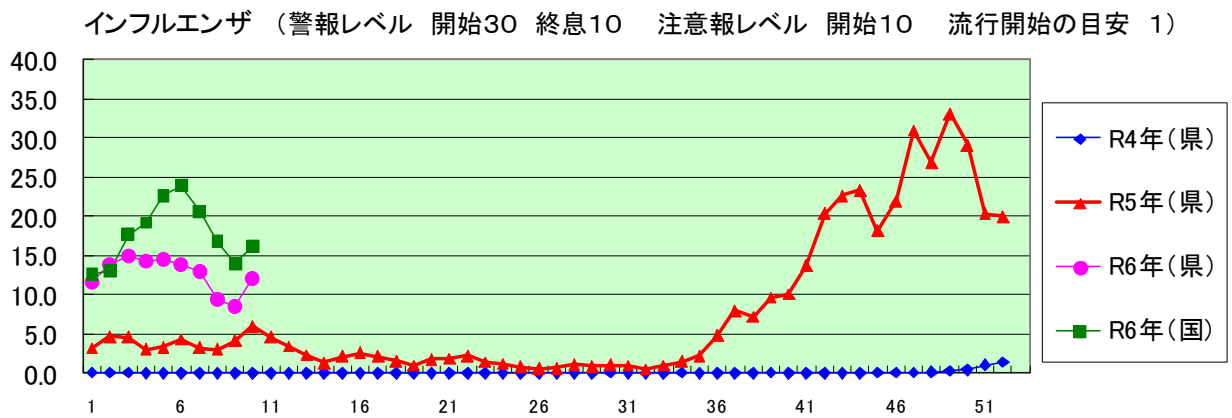
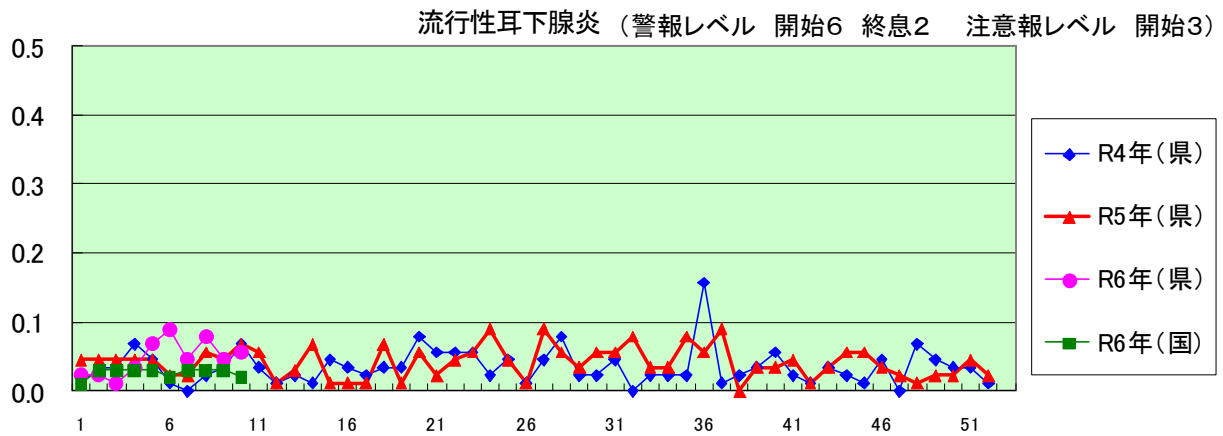
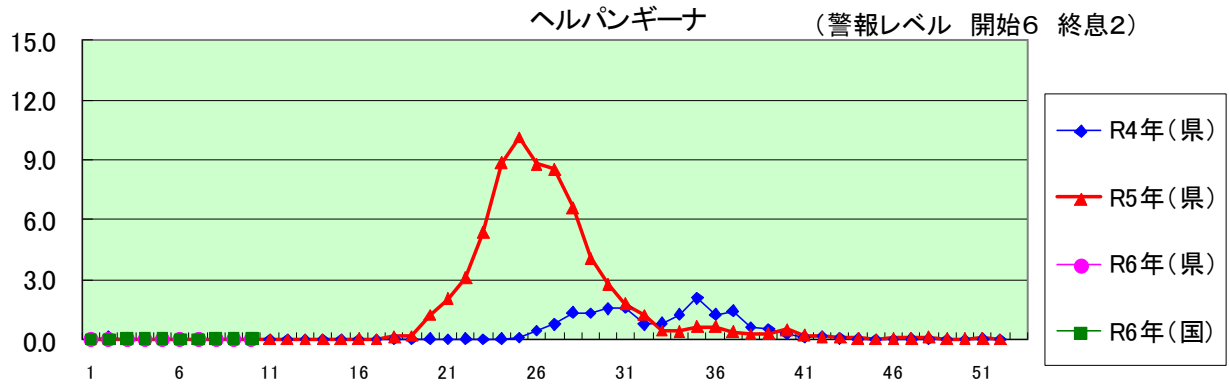


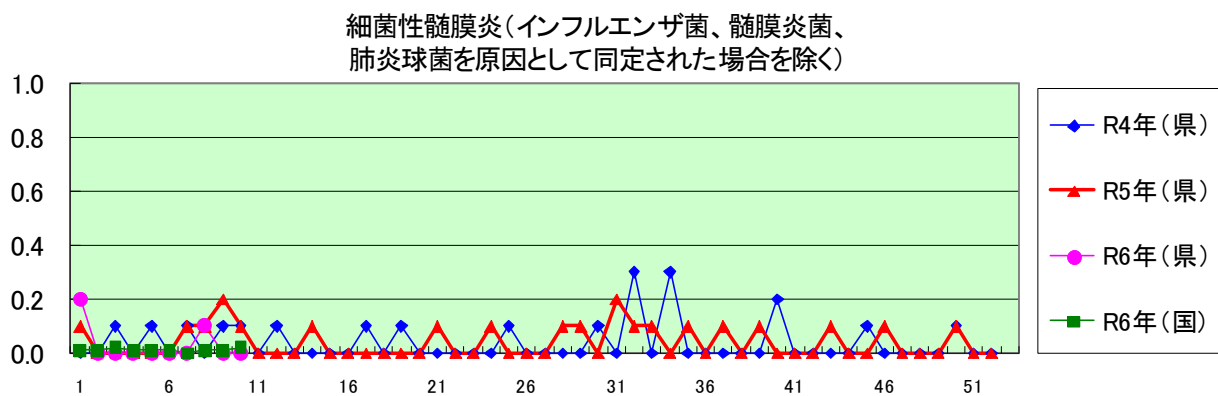
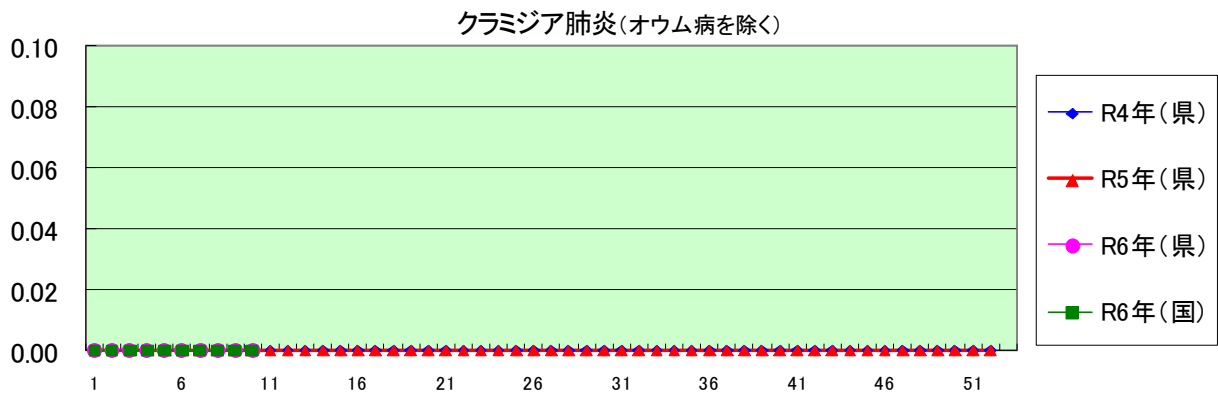
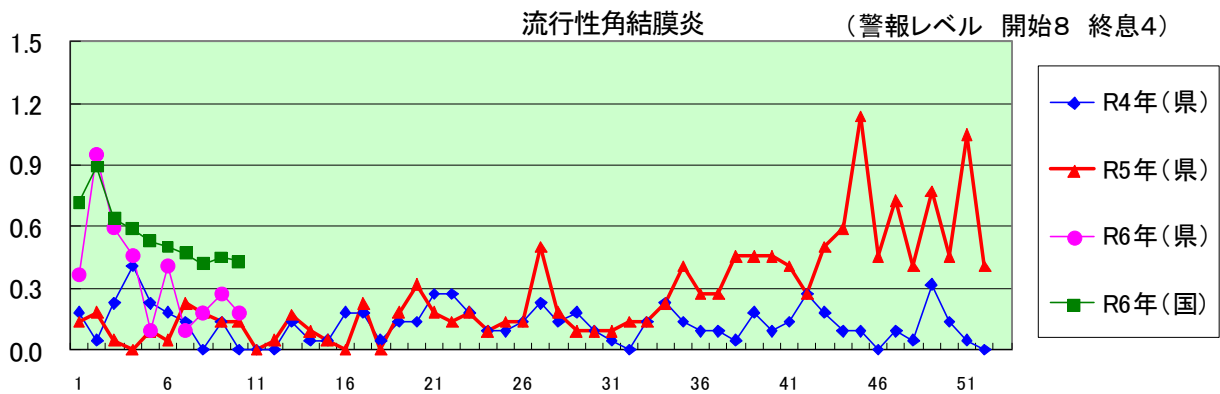
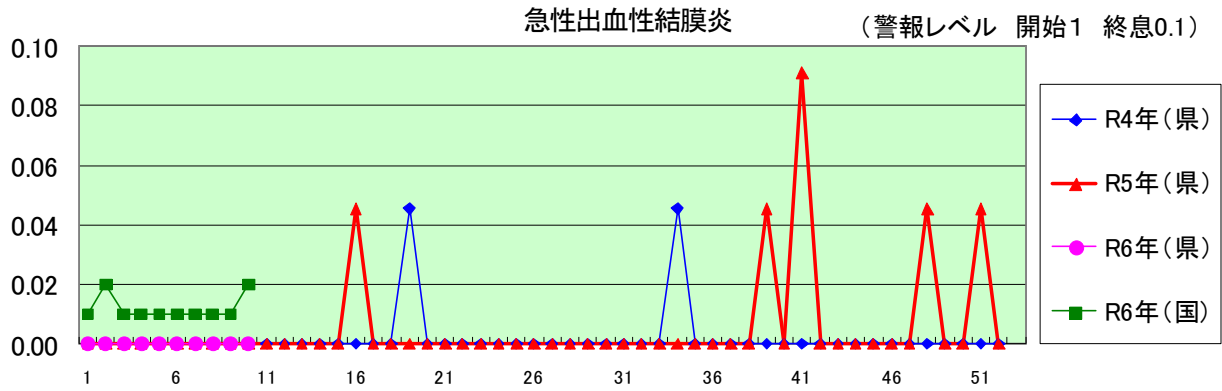
伝染性紅斑 (警報レベル 開始2 終息1)



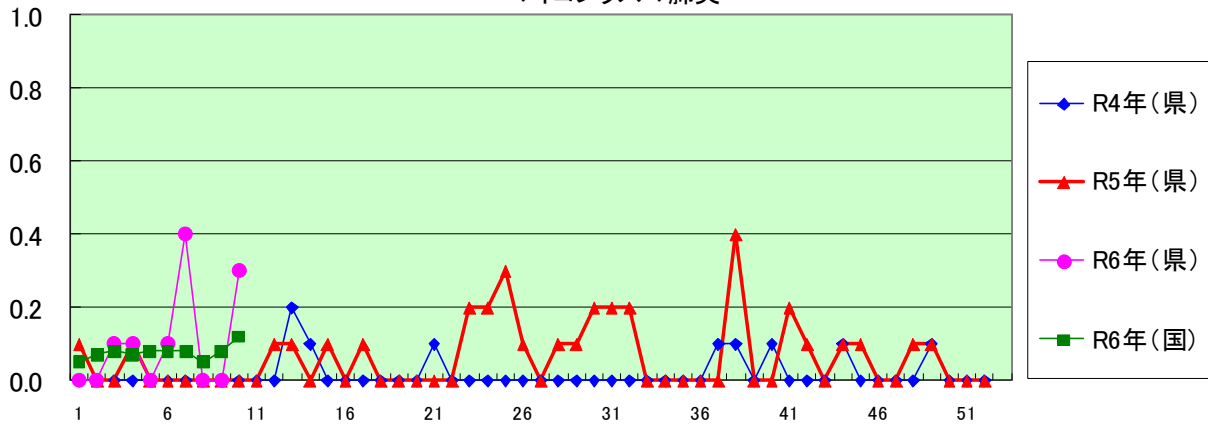
突発性発しん



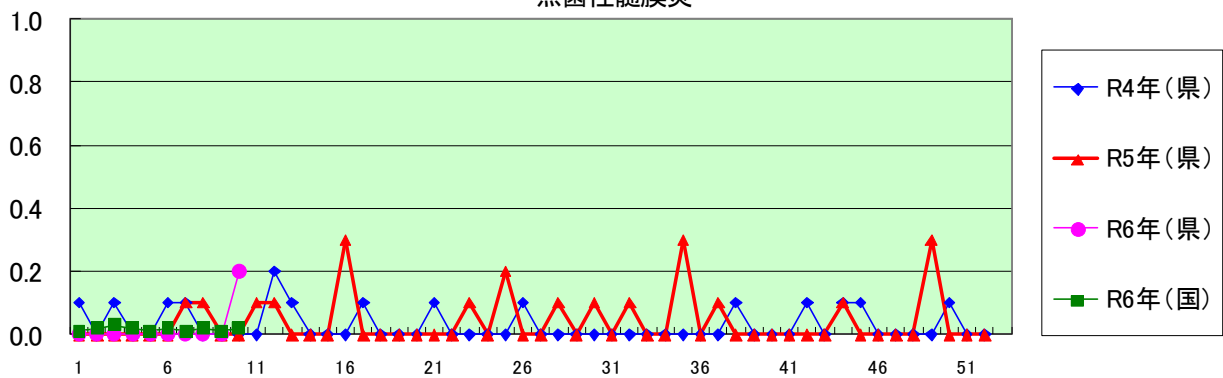




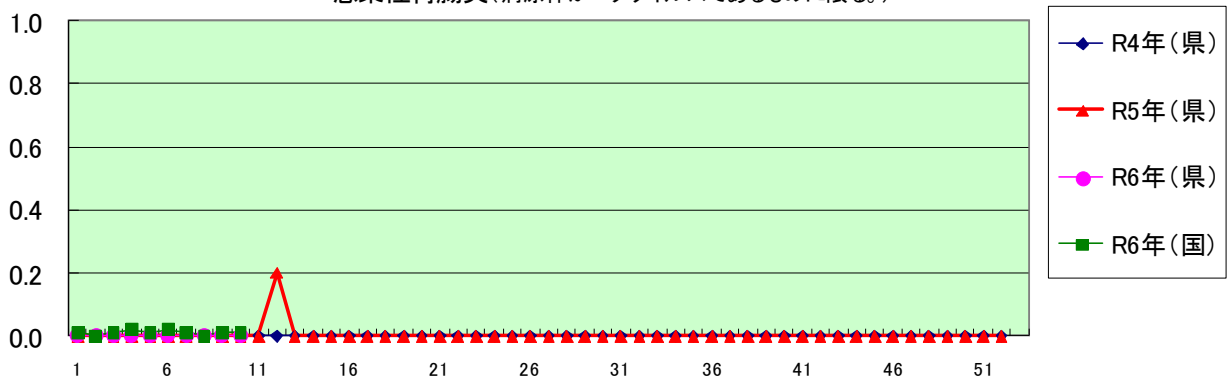
マイコプラズマ肺炎



無菌性髄膜炎



感染性胃腸炎(病原体がロタウイルスであるものに限る。)



定点種別	県内定点数	届出対象感染症
小児科	89	RSウイルス感染症、咽頭結膜熱、A群溶血性レンサ球菌咽頭炎、感染性胃腸炎、水痘、手足口病、伝染性紅斑、突発性発しん、ヘルパンギーナ、流行性耳下腺炎、インフルエンザ、新型コロナウイルス感染症
内科	50	インフルエンザ、新型コロナウイルス感染症
眼科	22	急性出血性結膜炎、流行性角結膜炎
基幹	10	クラミジア肺炎(オウム病を除く)、細菌性髄膜炎、マイコプラズマ肺炎、無菌性髄膜炎、感染性胃腸炎(病原体がロタウイルスであるものに限る。)

定点把握感染症(月報)集計表(届出数)

2024年 2 月

	静岡県							全国				
	9月	10月	11月	12月	1月	今月	計	11月	12月	1月	今月	計
性器クラミジア感染症	72	66	61	53	61	56	369	2,437	2,462	2,508	2,346	9,753
性器ヘルペスウイルス感染症	18	14	23	18	19	16	108	791	798	814	743	3,146
尖圭コンジローマ	15	11	15	15	13	11	80	528	507	502	487	2,024
淋菌感染症	20	15	11	13	13	18	90	823	791	852	747	3,213
性器クラミジア感染症(男)	23	22	22	16	18	18	119	1,141	1,211	1,274	1,140	4,766
性器クラミジア感染症(女)	49	44	39	37	43	38	250	1,296	1,251	1,234	1,206	4,987
性器ヘルペスウイルス感染症(男)	4	7	9	9	5	5	39	280	276	300	292	1,148
性器ヘルペスウイルス感染症(女)	14	7	14	9	14	11	69	511	522	514	451	1,998
尖圭コンジローマ(男)	10	6	8	6	8	5	43	343	321	335	327	1,326
尖圭コンジローマ(女)	5	5	7	9	5	6	37	185	186	167	160	698
淋菌感染症(男)	12	6	7	9	9	8	51	591	604	670	537	2,402
淋菌感染症(女)	8	9	4	4	4	10	39	232	187	182	210	811
メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	21	21	16	26	27	26	137	1,233	1,356	1,328	1,325	5,242
ペニシリン耐性肺炎球菌感染症								74	88	80	74	316
薬剤耐性緑膿菌感染症								5	7	6	7	25

定点種別	県内定点数	届出対象感染症
性感染症	30	性器クラミジア感染症、性器ヘルペスウイルス感染症、尖形コンジローマ、淋菌感染症
基幹	10	メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症、ペニシリン耐性肺炎球菌感染症、薬剤耐性緑膿菌感染症

定点把握感染症(月報)集計表(定点当り)

2024年 2 月

	静岡県						全国			
	9月	10月	11月	12月	1月	今月	11月	12月	1月	今月
性器クラミジア感染症	2.40	2.20	2.03	1.77	2.03	1.87	2.59	2.51	2.57	2.40
性器ヘルペスウイルス感染症	0.60	0.47	0.77	0.60	0.63	0.53	0.81	0.81	0.83	0.76
尖圭コンジローマ	0.50	0.37	0.50	0.50	0.43	0.37	0.54	0.52	0.51	0.50
淋菌感染症	0.67	0.50	0.37	0.43	0.43	0.60	0.84	0.81	0.87	0.76
性器クラミジア感染症(男)	0.77	0.73	0.73	0.53	0.60	0.60	1.27	1.24	1.31	1.16
性器クラミジア感染症(女)	1.63	1.47	1.30	1.23	1.43	1.27	1.32	1.28	1.27	1.23
性器ヘルペスウイルス感染症(男)	0.13	0.23	0.30	0.30	0.17	0.17	0.29	0.28	0.31	0.30
性器ヘルペスウイルス感染症(女)	0.47	0.23	0.47	0.30	0.47	0.37	0.52	0.53	0.53	0.46
尖圭コンジローマ(男)	0.33	0.20	0.27	0.20	0.27	0.17	0.35	0.33	0.34	0.33
尖圭コンジローマ(女)	0.17	0.17	0.23	0.30	0.17	0.20	0.19	0.19	0.17	0.16
淋菌感染症(男)	0.40	0.20	0.23	0.37	0.30	0.27	0.60	0.62	0.69	0.55
淋菌感染症(女)	0.27	0.30	0.13	0.13	0.13	0.33	0.24	0.19	0.19	0.21
メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	2.10	2.10	1.60	2.60	2.70	2.60	2.58	2.84	2.78	2.77
ペニシリン耐性肺炎球菌感染症							0.15	0.18	0.17	0.15
薬剤耐性緑膿菌感染症							0.01	0.01	0.01	0.01

定点種別	県内定点数	届出対象感染症
性感染症	30	性器クラミジア感染症、性器ヘルペスウイルス感染症、尖圭コンジローマ、淋菌感染症
基幹	10	メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症、ペニシリン耐性肺炎球菌感染症、薬剤耐性緑膿菌感染症

2024年 2 月

保健所名	性器クラミジア感染症		性器ヘルペスウイルス感染症		尖圭コンジローマ		淋菌感染症	
	罹患数	定点当り	罹患数	定点当り	罹患数	定点当り	罹患数	定点当り
総数	56	1.87	16	0.53	11	0.37	18	0.60
賀茂
熱海	2	2.00						
東部	1	0.20	1	0.20				
御殿場	5	5.00	2	2.00	1	1.00	1	1.00
富士	9	3.00	4	1.33	2	0.67	2	0.67
静岡市	16	2.67	4	0.67	3	0.50	6	1.00
中部	8	2.00	3	0.75			6	1.50
西部	9	1.80	1	0.20	1	0.20	1	0.20
浜松市	6	1.20	1	0.20	4	0.80	2	0.40

保健所名	メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症		ペニシリン耐性肺炎球菌感染症		薬剤耐性緑膿菌感染症	
	罹患数	定点当り	罹患数	定点当り	罹患数	定点当り
総数	26	2.60	0		0	
賀茂						
熱海	2	2.00				
東部	1	1.00				
御殿場
富士	2	2.00				
静岡市	16	8.00				
中部						
西部	1	1.00				
浜松市	4	2.00				

保健所名	定点(指定届出機関)数	
	性感染症	基幹
総数	30	10
賀茂		1
熱海	1	1
東部	5	1
御殿場	1	
富士	3	1
静岡市	6	2
中部	4	1
西部	5	1
浜松市	5	2

* 薬剤耐性アシネトバクター感染症は、平成26年9月19日から全数把握の対象となりました。

定点把握感染症(月報)年齢階級別集計表(届出数)

2024年 2 月

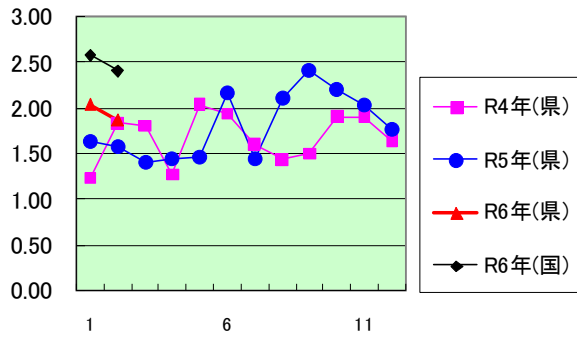
年齢階級区分	0歳	1～4歳	5～9歳	10～14歳	15～19歳	20～24歳	25～29歳	30～34歳	35～39歳	40～44歳	45～49歳	50～54歳	55～59歳	60～64歳	65～69歳	70歳以上	計
性器クラミジア感染症					5	24	13	9	2		1	1		1			56
性器ヘルペスウイルス感染症						2	4	1	4			3		1		1	16
尖圭コンジローマ						4	1	2	2			1		1			11
淋菌感染症					3	6	6	1			1	1					18
性器クラミジア感染症(男)						7	2	5	2		1			1			18
性器クラミジア感染症(女)					5	17	11	4				1					38
性器ヘルペスウイルス感染症(男)							1	1	1			1				1	5
性器ヘルペスウイルス感染症(女)						2	3		3			2		1			11
尖圭コンジローマ(男)							1		2			1		1			5
尖圭コンジローマ(女)						4		2									6
淋菌感染症(男)					3	2	1				1	1					8
淋菌感染症(女)						4	5	1									10
メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症							1			1	1		2	1	2	18	26
ペニシリン耐性肺炎球菌感染症																	
薬剤耐性緑膿菌感染症																	

定点把握感染症(月報)年齢階級別集計表(定点当り)

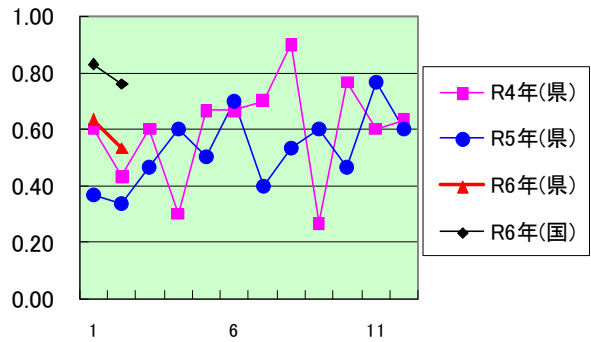
2024年 2 月

年齢階級区分	0歳	1～4歳	5～9歳	10～14歳	15～19歳	20～24歳	25～29歳	30～34歳	35～39歳	40～44歳	45～49歳	50～54歳	55～59歳	60～64歳	65～69歳	70歳以上	計
性器クラミジア感染症					0.17	0.80	0.43	0.30	0.07		0.03	0.03		0.03			1.87
性器ヘルペスウイルス感染症						0.07	0.13	0.03	0.13			0.10		0.03		0.03	0.53
尖圭コンジローマ						0.13	0.03	0.07	0.07			0.03		0.03			0.37
淋菌感染症					0.10	0.20	0.20	0.03			0.03	0.03					0.60
性器クラミジア感染症(男)						0.23	0.07	0.17	0.07		0.03			0.03			0.60
性器クラミジア感染症(女)					0.17	0.57	0.37	0.13				0.03					1.27
性器ヘルペスウイルス感染症(男)							0.03	0.03	0.03			0.03				0.03	0.17
性器ヘルペスウイルス感染症(女)						0.07	0.10		0.10			0.07		0.03			0.37
尖圭コンジローマ(男)							0.03		0.07			0.03		0.03			0.17
尖圭コンジローマ(女)						0.13		0.07									0.20
淋菌感染症(男)					0.10	0.07	0.03				0.03	0.03					0.27
淋菌感染症(女)						0.13	0.17	0.03									0.33
メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症							0.10			0.10	0.10		0.20	0.10	0.20	1.80	2.60
ペニシリン耐性肺炎球菌感染症																	
薬剤耐性緑膿菌感染症																	

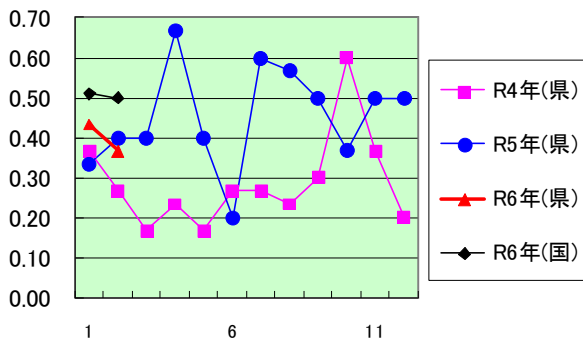
性器クラミジア感染症



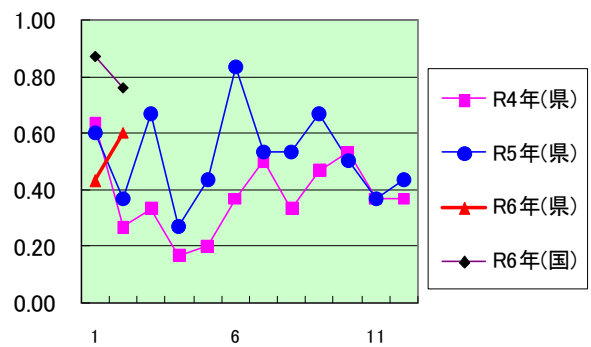
性器ヘルペスウイルス感染症



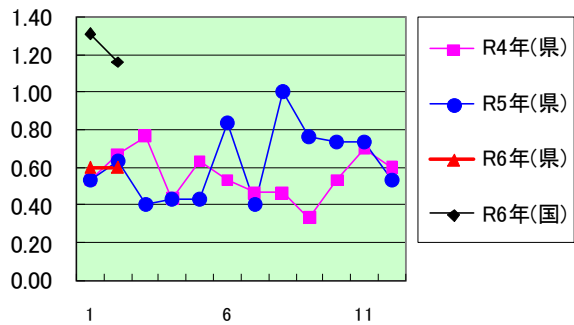
尖圭コンジローマ



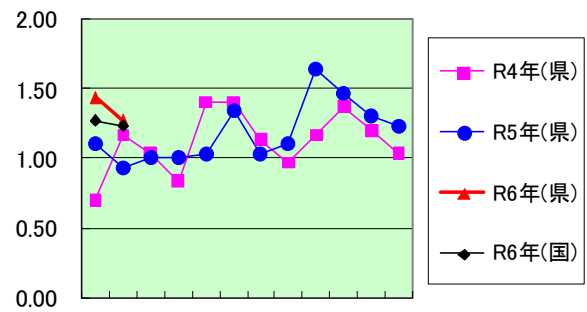
淋菌感染症



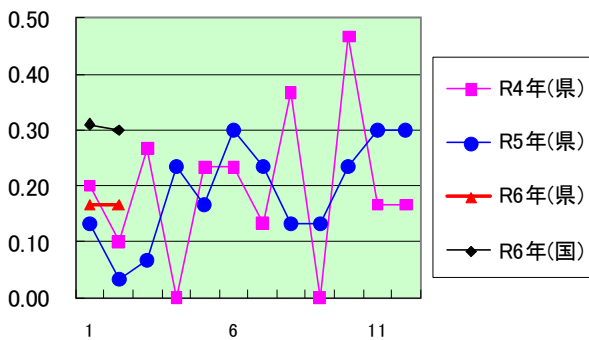
性器クラミジア感染症(男)



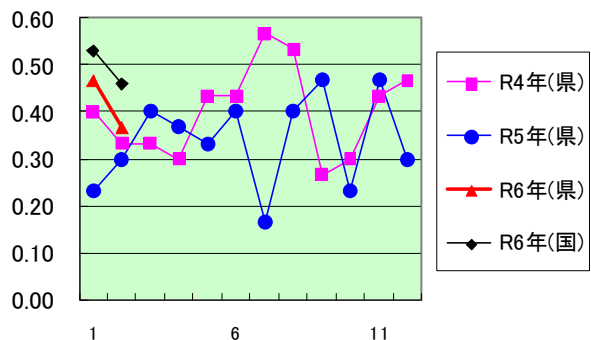
性器クラミジア感染症(女)



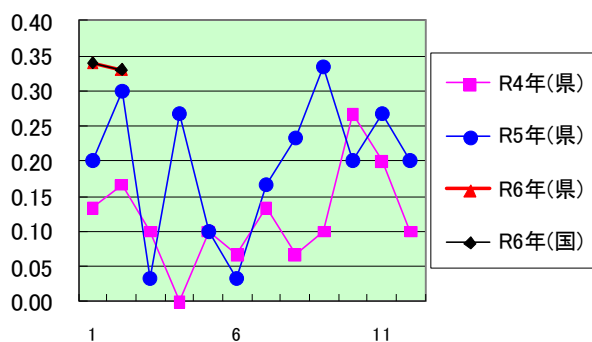
性器ヘルペスウイルス感染症(男)



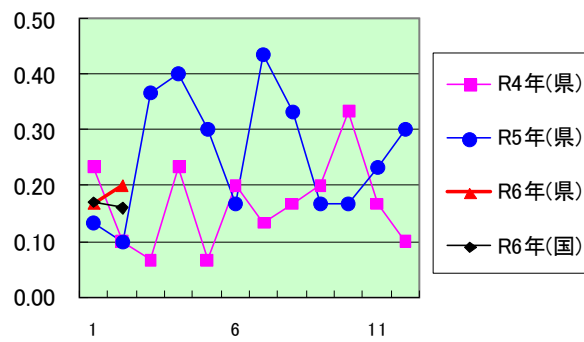
性器ヘルペスウイルス感染症(女)



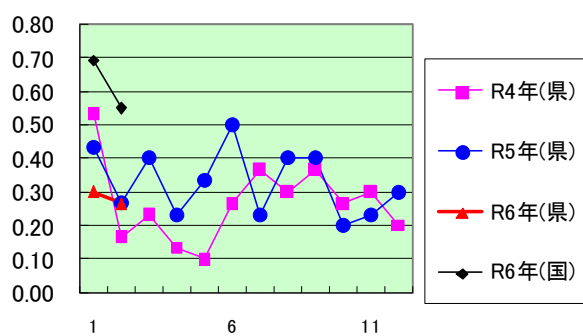
尖圭コンジローマ(男)



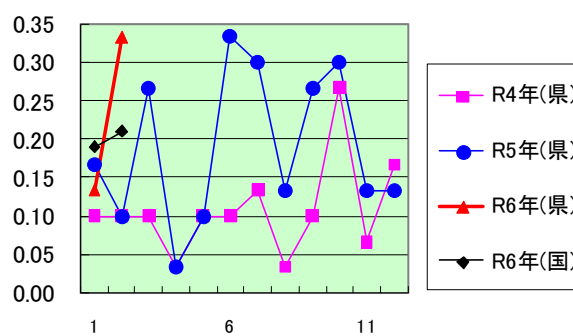
尖圭コンジローマ(女)



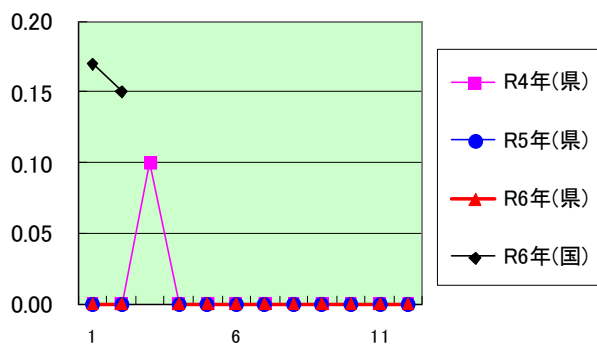
淋菌感染症(男)



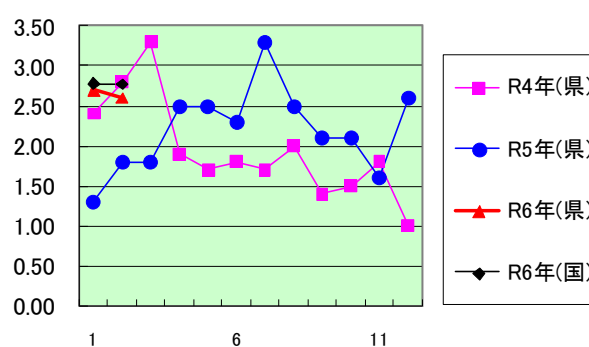
淋菌感染症(女)



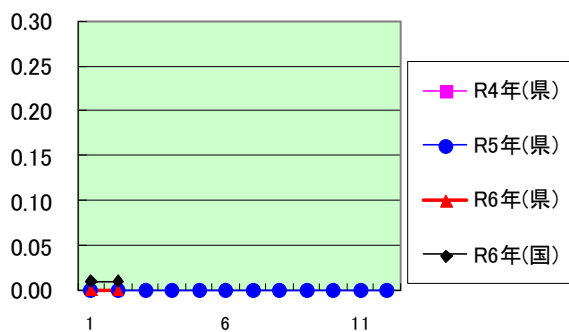
ペニシリン耐性肺炎球菌感染症



メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症

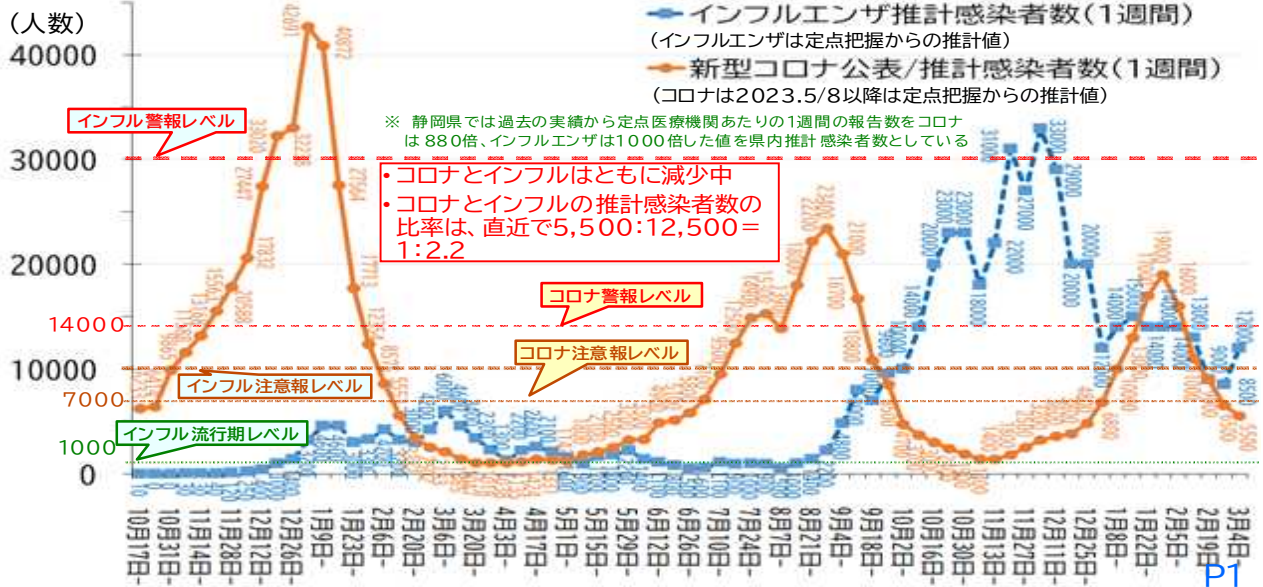


薬剤耐性緑膿菌感染症

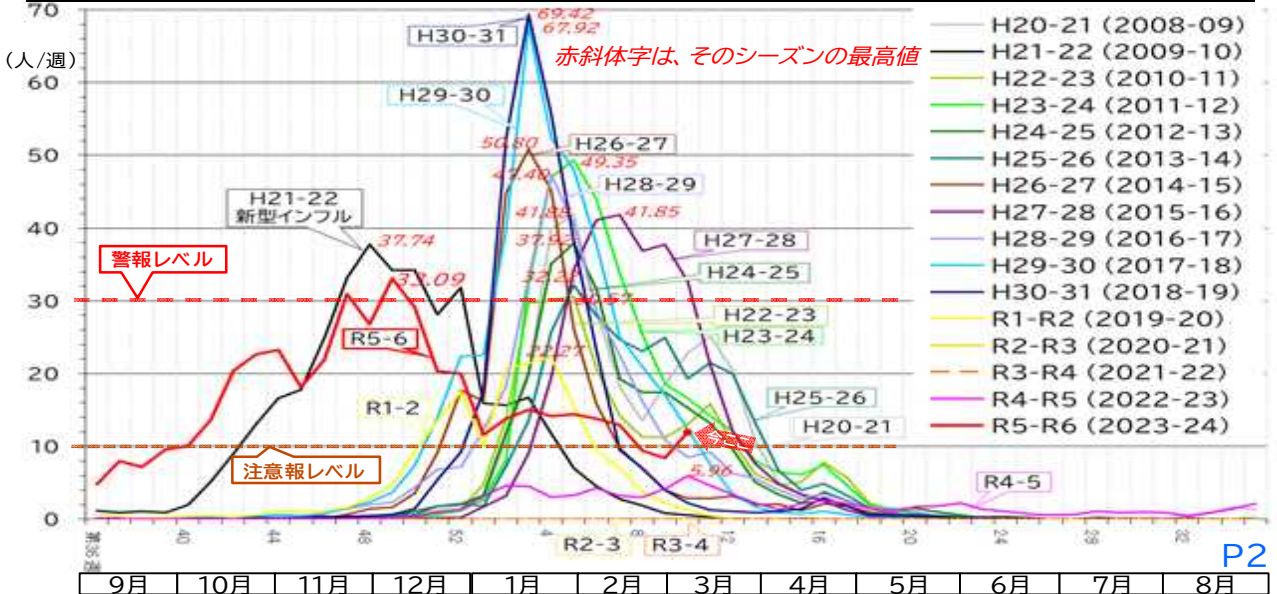


定点種別	県内定点数	届出対象感染症
性感染症	30	性器クラミジア感染症、性器ヘルペスウイルス感染症、尖圭コンジローマ、淋菌感染症
基幹	10	ペニシリン耐性肺炎球菌感染症、メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症、薬剤耐性アシネトバクター感染症、薬剤耐性緑膿菌感染症

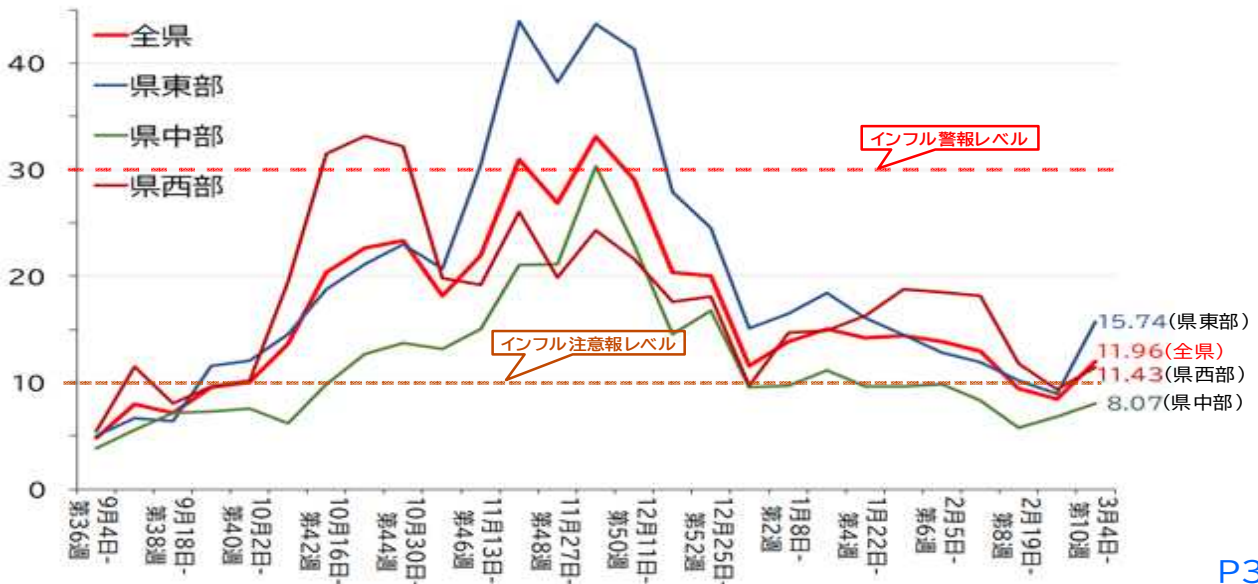
静岡県 新型コロナとインフルエンザの流行の状況 (2022.10/24~2024.3/10)



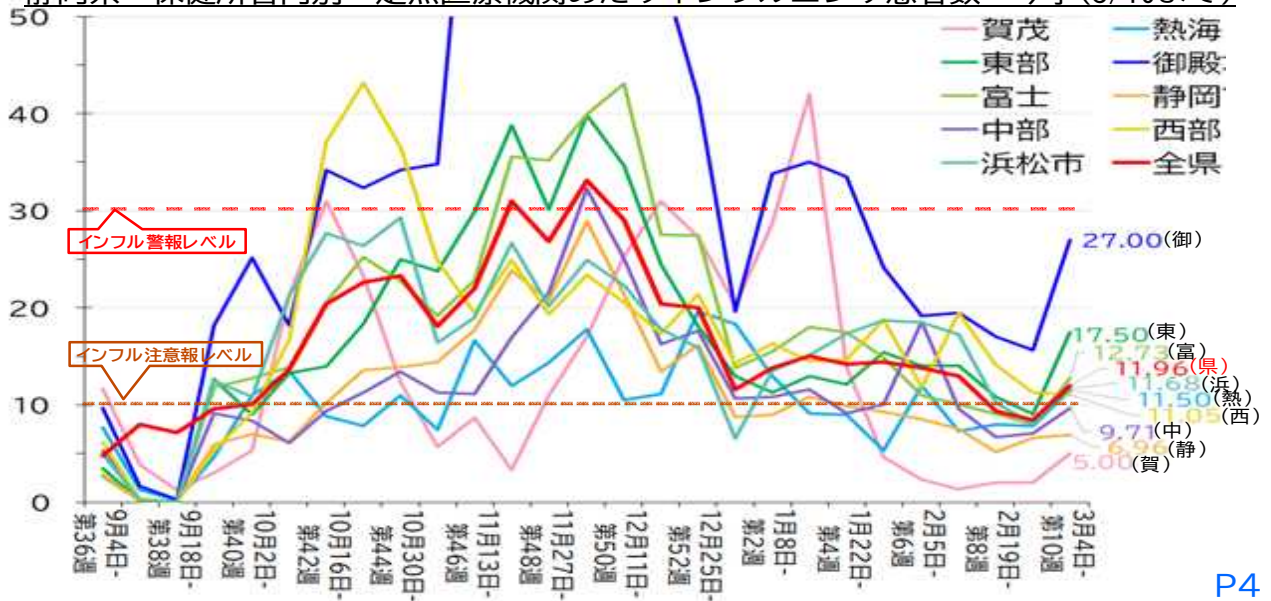
静岡県 定点医療機関インフルエンザ患者報告 過去16シーズンの比較



静岡県 東中西部地域別 定点医療機関あたりインフルエンザ患者数 今季(3/10まで)

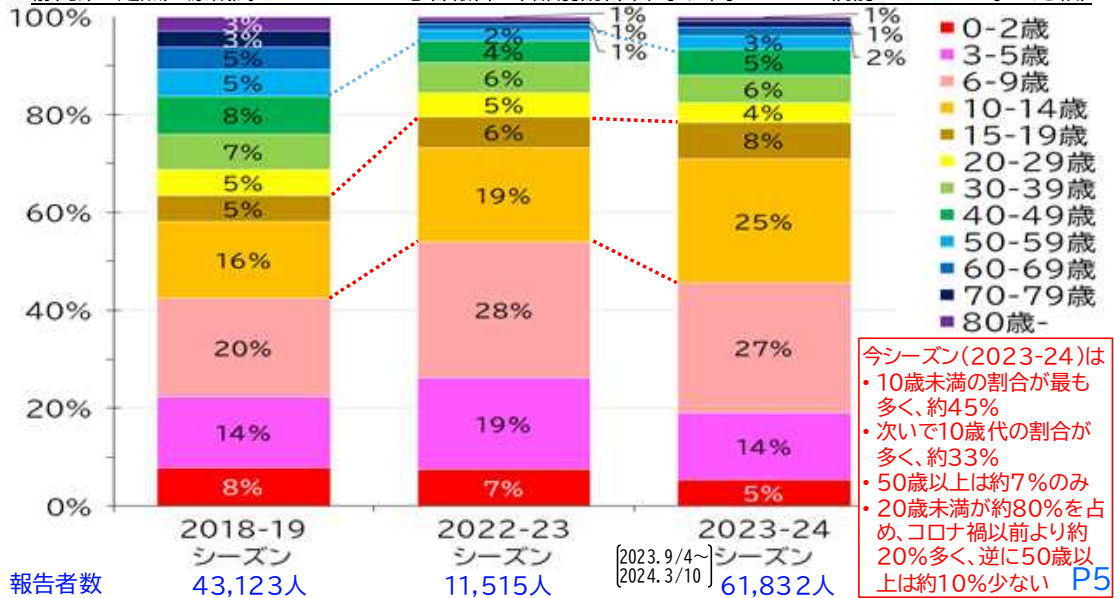


静岡県 保健所管内別 定点医療機関あたりインフルエンザ患者数 今季(3/10まで)

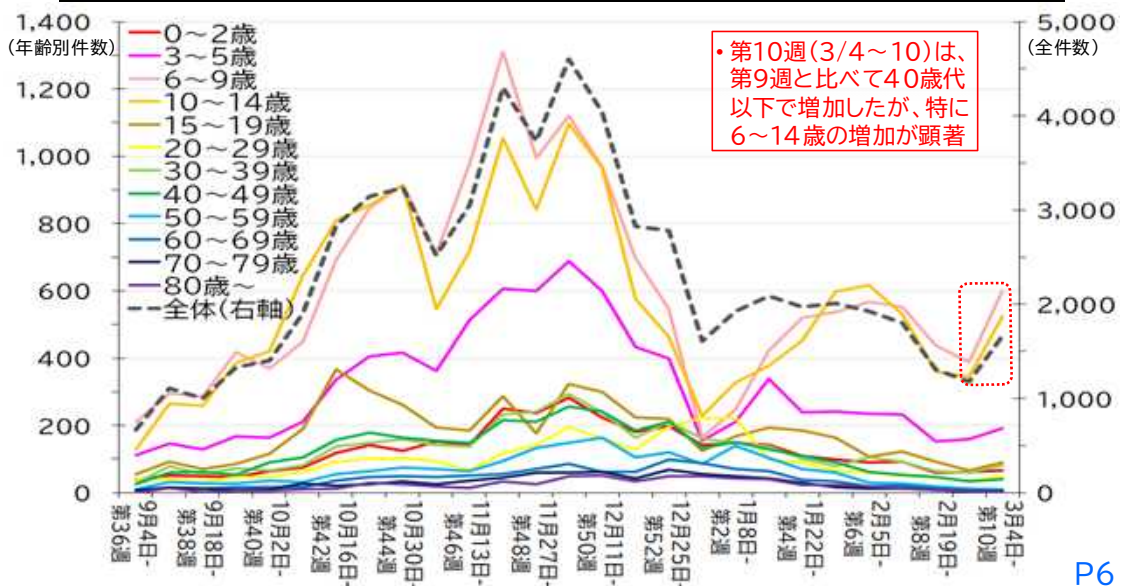


P4

静岡県 定点医療機関インフルエンザ患者報告 年齢別割合 (今季、昨季とコロナ禍前2018-19季の比較)



静岡県 定点医療機関インフルエンザ患者報告 年齢別報告数 今季(3/10まで)



P6

<インフルエンザ拡大防止のために県民の皆様へ>

ワクチンの接種について

- ・ インフルエンザによって高齢者や基礎疾患のある方は、重症化することがあり、乳幼児ではまれにインフルエンザ脳症を起こすことがあります。ワクチン接種により、死亡や入院の危険が減少するとされています。
- ・ 今シーズンのインフルエンザワクチンの供給量は、昨シーズンの使用量を超える供給量となります。
- ・ **65歳以上等の定期接種対象者で接種を希望する方は、お早めの接種をお願いします。**
- ・ **定期接種対象者以外でも、特に、基礎疾患のある方や、乳幼児、以前インフルエンザにかかってつらかった方は接種の御検討をお願いします。**

(インフルエンザワクチンの接種によって、インフルエンザの重症化を予防する効果や発症をある程度抑える効果が期待できる一方、接種時の体調によっては副反応などが生じる場合もありますので、かかりつけ医などと相談しつつ、接種を検討いただくようお願いいたします。)

- ・ なお、インフルエンザワクチンと新型コロナワクチンは同時に接種できます。

「うつらない」・「うつさない」ための取組の徹底

- ・ 体調が悪い場合は、人が集まるイベントに参加することは控えましょう。
- ・ 人混みでは、**咳エチケット**（咳やくしゃみが出るときは、マスクを着用するか、ティッシュや腕の内側などで口と鼻を覆い顔を他の人に向けない）を励行しましょう
- ・ インフルエンザと診断されたら医師の指示を守って服薬し、外出を控えるとともに、家庭内でも咳エチケットを徹底し、十分な休養をとりましょう
- ・ 人が集まる室内では、十分に換気をしましょう
- ・ こまめに手洗いをしましょう
- ・ なるべく密を避けましょう
- ・ 十分な栄養と睡眠をとり、健康管理につとめましょう

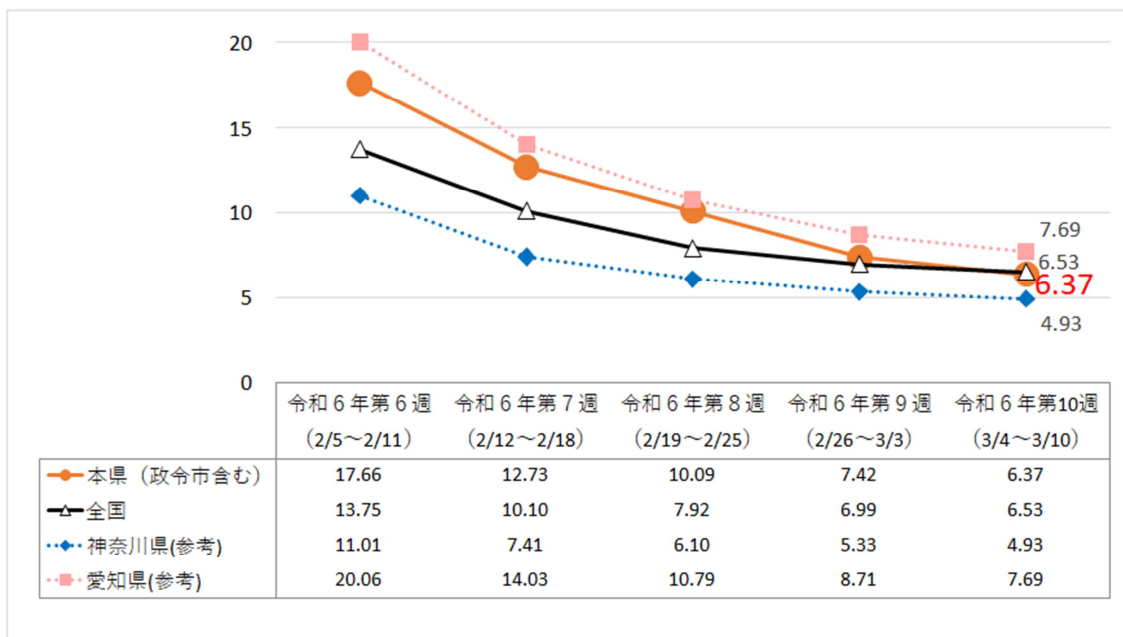
新型コロナウイルス感染症について

令和6年第10週（令和6年3月4日～3月10日）

★令和6年第10週の感染状況について

- ・県全体の定点医療機関当たり患者数は **6.37人/週**で、前週(7.42人/週)に比べて減少しています。
- ・この1週間の定点医療機関から報告された患者数は885人で、前週(1,032人)に比べて0.86倍です。
- ・この1週間の全感染者数は、約6,000人(1日平均約900人)と推計されます。
- ・熱海、御殿場保健所管内が感染拡大注意報レベルです。

1 定点医療機関当たり患者数（単位：人/週）



全国及び隣接する神奈川県、愛知県も表示します。

2 定点医療機関当たり患者数【保健所別】＜令和6年第10週＞

保健所ごとに定点医療機関1か所当たりの人口や年齢構成などが異なるため、保健所間で数値の単純比較はできません。

保健所名	各保健所の 管轄市町名	定点医療 機関数 (A)	定点医療機関 の患者数 (B)	定点医療機関 当たりの患者数 (B/A)	県独自の 注意報 レベル※	県独自の 警報 レベル※	
県東部地域	賀茂	下田市、東伊豆町、河津町、 南伊豆町、松崎町、西伊豆町	3	19	6.33	13以上	26以上
	熱海	熱海市、伊東市	6	55	9.17	9以上	18以上
	東部	沼津市、三島市、裾野市、 伊豆市、伊豆の国市、函南町、 清水町、長泉町	20	96	4.80	8以上	16以上
	御殿場	御殿場市、小山町	6	120	20.00	17以上	34以上
	富士	富士市、富士宮市	15	122	8.13	11以上	22以上
県東部地域		50	412	8.24	10以上	20以上	
県中部地域	静岡市	静岡市	25	105	4.20	6以上	12以上
	中部	島田市、焼津市、藤枝市、 牧之原市、吉田町、川根本町	17	134	7.88	8以上	16以上
県中部地域		42	239	5.69	7以上	14以上	
県西部地域	西部	磐田市、掛川市、袋井市、 御前崎市、菊川市、湖西市、森町	19	118	6.21	10以上	20以上
	浜松市	浜松市	28	116	4.14	7以上	14以上
県西部地域		47	234	4.98	8以上	16以上	
県全体		139	885	6.37	8以上	16以上	

※県独自の注意報レベル：令和4年10月以降の第8波の新規感染者数の推移から、1週間当たりの新規感染者数が人口10万人当たり200人以上となった水準を、暫定的に県独自の注意報レベルとして設定しています。（例えば、賀茂保健所の定点医療機関当たり患者数は13以上で注意報レベルということになります）

※県独自の警報レベル：1週間当たりの新規感染者数が人口10万人当たり400人以上となった水準を、暫定的に県独自の警報レベルとして設定しています。

3 定点医療機関当たり患者数【保健所別】＜5週間の推移＞

保健所名	令和6年第6週 (2/5~2/11)	令和6年第7週 (2/12~2/18)	令和6年第8週 (2/19~2/25)	令和6年第9週 (2/26~3/3)	令和6年第10週 (3/4~3/10)	前週比推移	
県東部地域	賀茂	17.67	14.33	8.00	11.67	6.33	↓ ↓ ↓ ↑ ↓
	熱海	20.83	17.83	13.17	7.50	9.17	↓ ↓ ↓ ↓ ↑
	東部	12.80	10.20	8.80	5.95	4.80	↓ ↓ ↓ ↓ ↓
	御殿場	56.33	34.83	31.00	23.00	20.00	↓ ↓ ↓ ↓ ↓
	富士	20.93	15.80	11.87	8.00	8.13	↓ ↓ ↓ ↓ ↑
県東部地域	21.72	16.00	12.86	9.14	8.24	↓ ↓ ↓ ↓ ↓	
県中部地域	静岡市	13.20	8.76	6.16	4.84	4.20	↓ ↓ ↓ ↓ ↓
	中部	18.24	12.88	11.35	8.53	7.88	↓ ↓ ↓ ↓ ↓
県中部地域	15.24	10.43	8.26	6.33	5.69	↓ ↓ ↓ ↓ ↓	
県西部地域	西部	17.16	15.53	10.32	7.79	6.21	↓ ↓ ↓ ↓ ↓
	浜松市	14.39	8.46	7.71	5.75	4.14	↓ ↓ ↓ ↓ ↓
県西部地域	15.51	11.32	8.77	6.57	4.98	↓ ↓ ↓ ↓ ↓	
県全体	17.66	12.73	10.09	7.42	6.37	↓ ↓ ↓ ↓ ↓	

4 感染拡大注意報・警報

注意報レベル：感染者が急増するおそれがある状況

警報レベル：感染者の増加が続き、医療のひっ迫のおそれがある状況

(1) 県全体の状況

県全体	
8	16
6.37	
—	

【凡例】

保健所名	
保健所管轄市町名	
注意報の 基準値	警報の 基準値
定点当たり患者数	
現在の状況	

(2) 地域別の状況

県東部地域		県中部地域		県西部地域	
10	20	7	14	8	16
8.24		5.69		4.98	
—		—		—	

(3) 保健所別の状況

賀茂保健所	熱海保健所	東部保健所	御殿場保健所	富士保健所
下田市, 東伊豆町, 河津町, 南伊豆町, 松崎町, 西伊豆町	熱海市, 伊東市	沼津市, 三島市, 裾野市, 伊豆市, 伊豆の国市, 函南町, 清水町, 長泉町	御殿場市, 小山町	富士市, 富士宮市
13	9	8	17	11
26	18	16	34	22
6.33	9.17	4.80	20.00	8.13
—	注意報	—	注意報	—
静岡市保健所	中部保健所	西部保健所	浜松市保健所	
静岡市	島田市, 焼津市, 藤枝市, 牧之原市, 吉田町, 川根本町	磐田市, 掛川市, 袋井市, 御前崎市, 菊川市, 湖西市, 森町	浜松市	
6	8	10	7	
12	16	20	14	
4.20	7.88	6.21	4.14	
—	—	—	—	

<県民の皆様へ>

手洗い、換気、咳エチケット等、基本的な感染対策の実施に引き続き御協力をお願いします。

5 感染者全数の推計値

保健所名		定点医療機関の患者数 (A)	管内の定点割合 (B)※1	管内の感染者全数の推計値 (A/B) ※2	
	賀茂	19	0.335	-	
	熱海	55	0.268	-	
	東部	96	0.150	-	
	御殿場	120	0.505	-	
	富士	122	0.215	-	
	県東部地域	412	0.221	1864	
		静岡市	105	0.109	-
		中部	134	0.154	-
		県中部地域	239	0.125	1912
		西部	118	0.166	-
		浜松市	116	0.117	-
		県西部地域	234	0.134	1746
	県全体	885	0.158	5601	

※1 定点割合

令和4年10月3日から令和5年5月7日までに定点医療機関から報告のあった患者数を、この期間の全感染者数で割った値。例えば県全体では、この期間の定点医療機関からの報告数は、全感染者数の15.8% (0.158) でした。

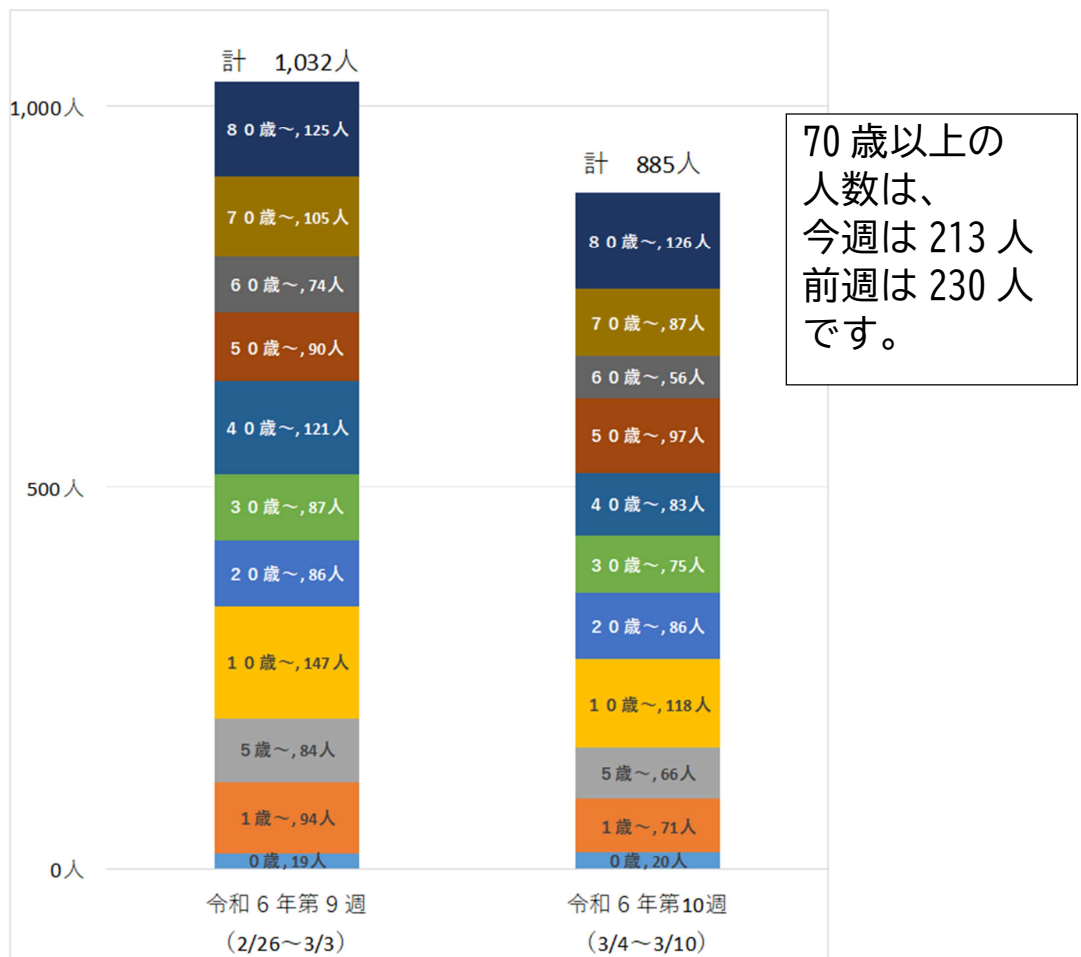
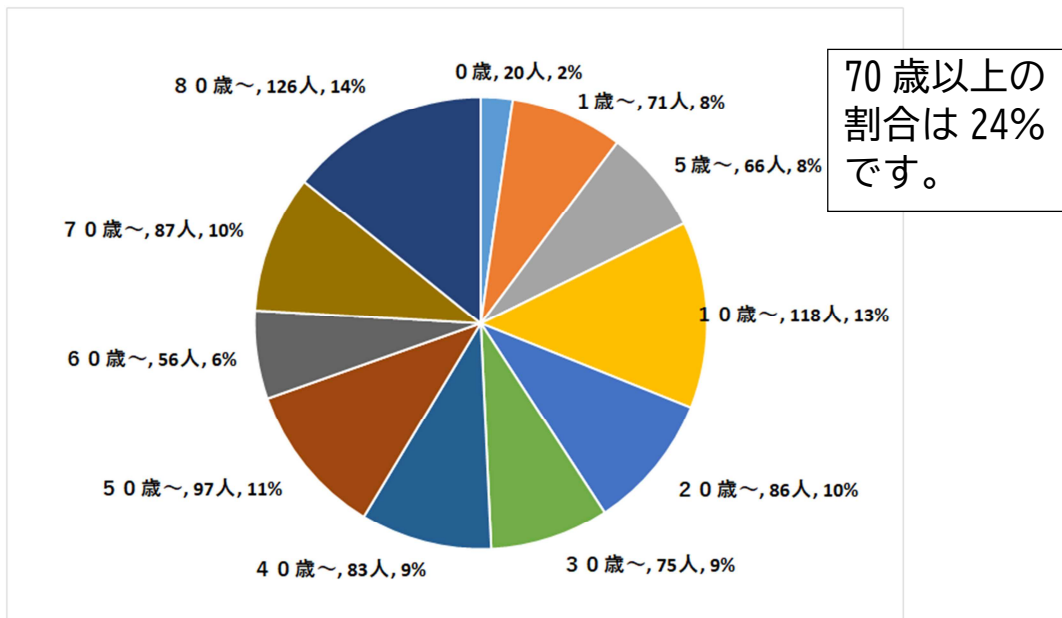
※2 推計値の算出方法

感染者全数の推計値は、定点医療機関の患者数を定点割合で除して算出しており (A÷B)、県全体の感染者数の全数は、 $885 \div 0.158 = 5,601$ 人と推計されます。各地域ごとに異なる定点割合で推計値を算出しているため、県東部地域、県中部地域、県西部地域の推計値の総和は必ずしも県全体の推計値と同じ値にはなりません。なお、人口が少ない地域は定点医療機関が少なく、算出される推計値は統計的に信頼性が低くなるため、各保健所ごとの推計値は示していません。

6 定点医療機関の年齢階級別患者数

0歳	1歳～	5歳～	10歳～	20歳～	30歳～	40歳～	50歳～
20人	71人	66人	118人	86人	75人	83人	97人

60歳～	70歳～	80歳～	不明	合計
56人	87人	126人	0人	885人



7 令和5年9月20日以降（令和5年秋開始接種） 3～7回目接種の実績

集計期間	全年代				65歳以上			
	静岡県			(参考)全国	静岡県			(参考)全国
	接種者数	接種者数累計	接種率	接種率	接種者数	接種者数累計	接種率	接種率
令和6年第6週 (2/5～2/11)	6,714	801,118	22.05%	21.87%	4,179	550,436	49.90%	52.30%
令和6年第7週 (2/12～2/18)	4,624	805,742	22.17%	22.00%	2,271	552,707	50.11%	52.54%
令和6年第8週 (2/19～2/25)	3,711	809,453	22.28%	22.10%	2,042	554,749	50.30%	52.73%
令和6年第9週 (2/26～3/3)	4,835	814,288	22.41%	22.23%	2,503	557,252	50.52%	52.96%
令和6年第10週 (3/4～3/10)	3,940	818,228	22.52%	22.34%	2,089	559,341	50.71%	53.16%

令和5年秋開始接種の概要

○接種時期 令和5年9月20日から令和6年3月31日まで

○接種対象者 2回以上の接種を完了した者

- ・高齢者(65歳以上)及び基礎疾患のある者（接種の努力義務あり）
- ・上記以外の者であって生後6か月以上のもの（接種の努力義務なし）

○使用ワクチン 以下のいずれかを1回のみ接種可

- ・オミクロン株XBB.1.5対応1価ワクチン（ファイザー社、モデルナ社及び第一三共社） 前回接種から3か月以上経過

変異株に関する項目は、令和5年12月25日（月）分から、1か月ごとに集計しています。（本日の公表はありません）

令和5年5月8日から、新型コロナウイルス感染症は感染症法上の位置付けが「5類感染症」となりました。

このため、感染状況の把握は、全数を毎日把握する方式ではなく、国が定める基準に従って指定された医療機関（定点医療機関）での患者数を1週間分まとめて把握する方式に変更されています。（季節性インフルエンザと同様の把握方法）